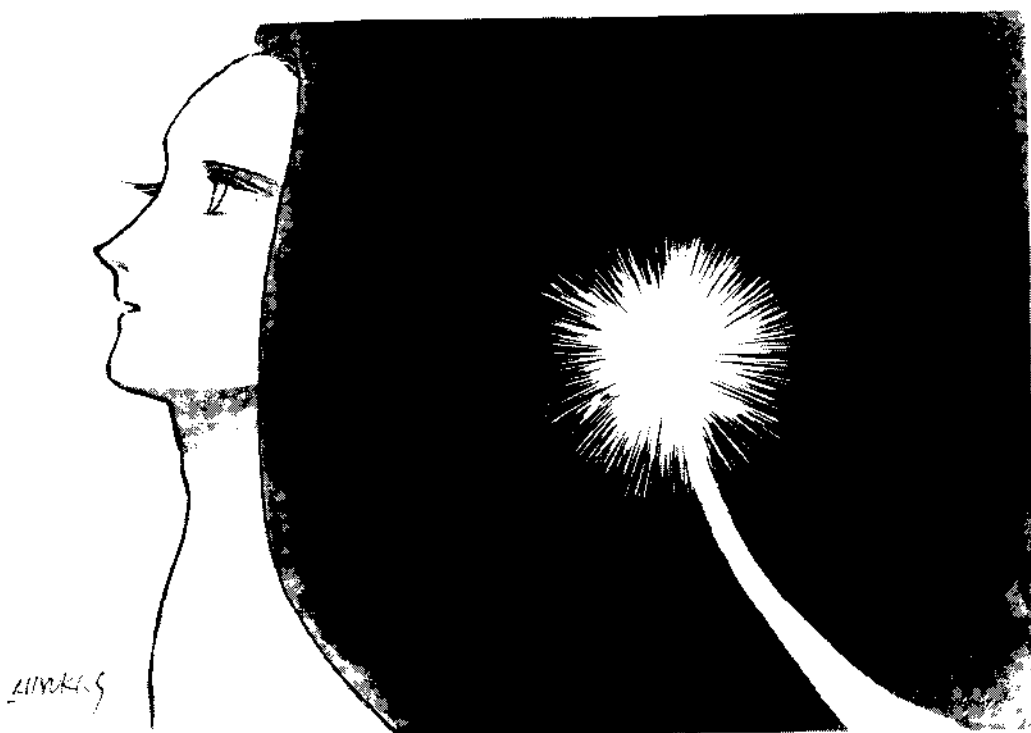


冷えきつっているようにみえても  
固く閉ざされていようとも  
それは準備なのだ  
必ず光り輝く時がくる  
解き放たれる日が…  
あたたかな光が舞うように  
再び冷え固まったとしても  
それは次の輝きのための準備  
そしていつかは  
久遠に光りつづけるようになるのだ



211004-5

目次

巻頭言

写真

岸和田高校訪問記

他校訪問から

感想―訪問ごぼれ話―

自治放談'85

大手前史上最大の戦い

自治放談 TIME IN BLUE

フローチャート

Making of 自治放談'85

自治放談'85を終えて

VIVA! くじざ! クイズ! QUIZ! SPECIAL

先生の名前を探すワードサーチ

ワンス・アポン・ア・タイム・イン・オオテマエクイズ

ワードチェインジでアタマもチェインジ!

エッ! 絵ツノマチガイさがし

がんばって解カンケイ・パズル

ちよつとだけ大手前に関係あるクロスワードパズル

―行事紹介―

ある大手前生の備忘録

☆編集室だよ その1

放送委員会

Express

34 33 30 29 28 28 27 26 25 24 23 21 20 10 9 9 5



# 主張

おとこ？ おんな？ けっこん.....	こんすけ.....
ある消極的な意見.....	穂昂須.....
あなたの鉄研.....	T O N.....
	39 37 35

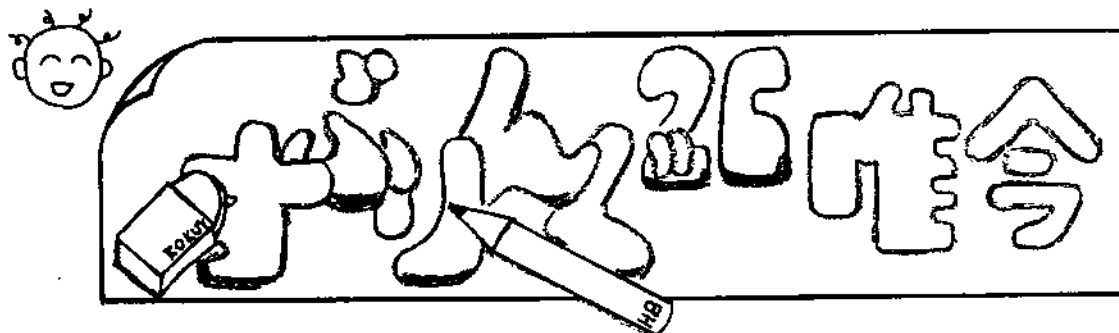
☆編集室だよ その2 .....	41
しいはく	
大学生生活をふりかえって.....	竹中秀樹先生.....
「大きなかぶ」はどこに.....	今西保雄先生.....
思うままに.....	松川 暉先生.....
府立大手前高校本館・別館の建築様式について.....	渡辺光一先生.....
	46 45 44 42

# 先生紹介

I 体研編.....	49
II 芸術編.....	53
III 理科棟編.....	54
IV 新任編.....	56

VIVA! くイズ! クイズ! QUIZ! SPECIALの解答	58
文芸	
お口様おはようございます.....	風の便り.....
思いつくままに.....	今村ともみ.....
Nonsense.....	しなの秋弥.....
思い出.....	中島由美.....
短歌.....	宮田俊治.....
〈H〉.....	チャーリー.....
道—The Long distance.....	空蟬乙女.....
	68 67 66 65 62 61 60 59

☆編集室だよ その3 編集後記 .....	68
-----------------------	----



BOOK COVER "ANOTHER TIME ANOTHER PLACE"  
 Script Takashi "ALAN" Hayata  
 Illustration Seizin "TIP TOP" Nishiyama

## 写真のコーナー

①岸和田高校の遠景。岸和田城からのながめ。11月30日(土)放課後の静けさを破ってスプリングがやってきたのだ。



②初対面の図。向かって左の2人が岸校自治会の副会長と会長。まだ話がギコチない。笑顔もギコチないですねえ。

③当日の岸校側の全メンバー。このころになると話もはずみ、うちとけてきたようです。なにか真剣なまなざしが……。



# 岸和田高校訪問記

南海本線蛸地蔵駅から歩くこと数分。岸和田城の堀端の、静かな住宅地の中にある、岸和田高校を僕達は訪れました。この高校は旧制第六中学に端を発し、今年で創立八十九周年を迎える、大手前と同じく伝統のある進学校です。では、僕達の岸和田高校訪問記、スタートしましょうか。

## ——すげいノ会長は一年生ノ——

んー。思わずうなづいてしまいました。二十分ばかり遅れて行った僕達を岸和田高校の自治会関係の方は快く迎えてくれました。この高校の自治会役員の人数は四人（正・副会長・会計・書記）なんです。その内会計・書記を除く二人が一年生ノよっぽど自治会に対する関心が強いんだろうなあと思っていると、別にそういうわけではなく、やっぱり内輪でかき集めることが多く、それでも欠員がある場合、再告示という事もあるそうです。それでもまだしつこく欠員のある時にはさらに代議員（大手前の各クラスの正・副会長にあたります）からひっこぬくという最後の手段が残されているそうです。現役員の方の中の一人もそういう方法で選出されたとか。だいたい我が校の実情と同じようでした。でも大手前でもこの方法を採用したとしたら、クラス役員選挙はさぞ……？

## ——各種委員会は、代議員で構成——

岸和田高校には文化委員、集会委員など、各クラスに個別の委員は無いそうです。そのかわり、代議員が六つの部会（文化、集会、

運動、庶務、会計、厚生）に振り分けられる、ということでした。ただ、この仕組みでは、代議員が分散してしまう上に複雑化するの、各クラスで各委員を選出する（大手前のクラス委員選出と同じ様にする）方向に進めていきたい、と言っておられました。僕としては、一つの部会だけで七〇名をこえているため、一人一人の委員の責任感が薄い我が校の事を考えると、どちらも一長一短があった複雑な心境でした。

## ——岸和田高校でも自治会への関心が低下気味——

大手前高校自治会の大きな課題、生徒の自治会離れが、ここでも進んでいるようでした。その理由をあげていただいたので、ここでもいくつかあげてみたいと思います。「役員をしている人に、生徒の馴染みがないんじゃないかな」「自治会室が3Fにあつて、下級生が、よく知らないということも……」「集会がめったにないので、役員が生徒全員にめったに顔を見せることがないからねエ……」ということでした。続いてその対策について聞いてみると、前期の会長さんが会報を七、八枚出して関心を呼びもどそうと努力されたそうです。反響は今一つだったそうですけれども、その実行力は、今の大手前にはないものだと思います。

岸和田高校の自治会への関心低下の理由を見る限り、我が校の自治会の方が条件はいいのですから今後の会長にはがんばってほしいところですよ。



## ——多彩なクラブ活動——

現在、岸和田高校のクラブ数は四十四部、大手前の三十一部数と

比べると非常に多いように思えますが、剣道が男女に、理研が天体部と物理部と化学部に分かれるなど、それを考慮すると、たいして数では変わりないようです。ただ大手前にはないものとしては、男女ハンドボール部、聖書研究部、詩吟部などがあり、運動系クラブは充実し、普通人気の薄い文化系クラブの多彩なことが、目につきました。でも、詩吟部なんか、どんな人が活動しているのか聞いてみたら、手芸、聖研、社研、詩吟、落研などは部員0の幽霊クラブなんだそうです。あと、予算の面から見ると、新聞部が予算総額の15%を占め、野球部、ブラスバンド部の5.5%前後から見ると、優遇されているんだなあ、という気がしました。

### ——超ロングラン：一ヶ月のお祭り騒ぎ——


岸和田高校は9月の間中遊びのワンダーランドと化すそうです。宿題テストが終わった後すぐ、球技大会、有名な岸和田だんじり祭文化祭、体育祭と続きます。特に、今年の9月27日からのスケジュールを、書き連らねてみましょう。9月27日は文化祭の前夜祭、9月28日文化祭初日、9月29日文化祭2日目、9月30日体育祭、10月1日代休。4日間。なんと4日間ノ大手前では絶対こういうことはできない。なぜなら我が校の恒例(?)として、そうした行事の一週間から二週間ぐらい前に、テストが用意されているからなのだ。4日間もこんなことをしていたら、試験疲れと、用意の疲れで寝こんでしまうノウー。いいなあーと思いつつも、あさがしの為に問題点を聞いてみると、生徒のほとんどが、体育祭の準備にまわることでできない、ということだそう。で、又、文化祭を秋にまわしたた



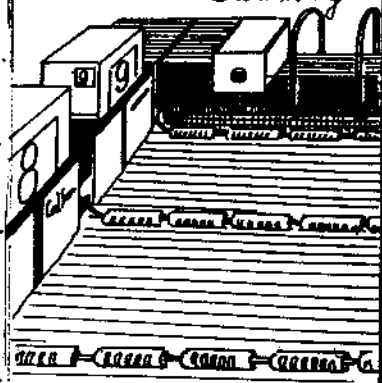
Whoo!!

君!  
新聞部に入部  
只今  
部員大募集。

入部希望者は  
石川先生 or  
萬田先生に



Let's enjoy Swimming!!



OJAME SWIMMING TEAM

Let's  
Join  
a  
tennis  
club

め、OBの方々は、「進学校の誇りを捨ててしまった。」と三言三言と嘆かれています。さてあなたがこれについて、進学校の名前をとるか、お祭り騒ぎの方をとるか聞かれたら、どうしますか？なお、そういう行事が終わった後、テストまで2〜3週間はあるそうです。うーん。同じ公立校なのにどうしてこんなに違うのだろうか。それじゃあ、その4日間の内、おもしろそうなものをいくつか拾ってみようと思います。

### ——討論分科会・公開講座とはなんぞや？——

討論分科会・公開講座。この名前をあなたは聞いたことがあるだろうか。これはどうも岸和田高校独得のものらしく（岸和田高生でさえも昭和45年頃より前は、あったのかどうか分からないと三言三言とおられた）前夜祭の開会式の後にすることとした。内容はと言えば、先生・生徒からの有志がテーマを自由に決めて、適当に集まってきた生徒（前夜祭は非公開だそうで……）を相手に講座を開いたり、討論会をしたり、相当文化的な内容だそうです。今年の資料を見せていただくと、「一般的音楽における芸術性」とか、「食品問題」など硬派な問題を生徒が提案したり、「ギネスに挑戦！みんなでJUMPなわとび大会」を体育科の先生が開いたり。またクラブ参加もあるようで、女子テニス部がドッジボールを提案したりと、結構たのしめそうなので人気があるでしょう？と聞いたら、これも無関心がたつて、毎年35組（35組以上参加しないと開けない）集めるのが、大変なんです、と意外なこたえが返ってきました。うーん。大手前で始めても同じような結果になるだろうな……。

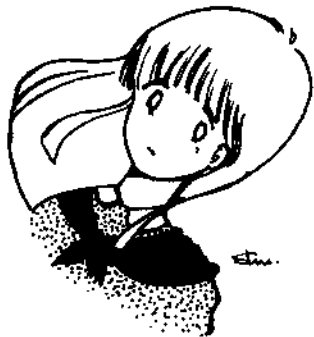
### ——意外に多い演劇——

プログラムを見ると演劇が多いんです。35クラス中19クラスも。

それもコメディやドタバタは少なく、「リア王」や「マクベス」などのシェイクスピア劇、「アニー」や「二代目はクリスチャン」などと、本当に文化的なものです。また、普通教室は、華道部などが占め、カラオケやゲームなどは一つもない。お祭り騒ぎはするというけれど、やることは充実したものをやるんだなめと感心してしまいました。大手前ならきつと、前述のカラオケ、ゲームにお化け屋敷を加えるとはほとんど残らないのではないだろうか。このやたら享樂的な方向に流れる校風には、一週間前のテストがいいおさえになるのだろうか。（ひたすらこれにこだわってしまう）とにかく、文化祭においては大手前は、岸和田高校に学ぶべきものがたくさんあると感じました。

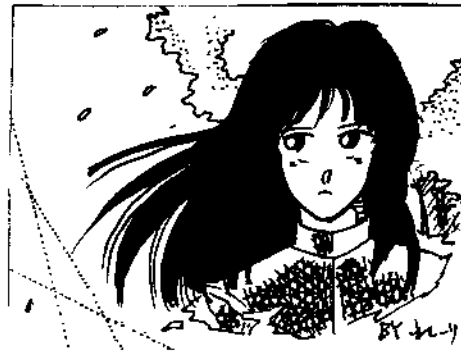
### ——クラス対抗でない体育祭——

体育大会も、大手前とは一味違う様子です。まず、一〜三年のワクをとっばらって、赤・青・黄・緑の4つのチームに分け、我が校のようにクラス対抗ではなく、チーム対抗という方法がとられています。こうすれば、応援合戦も人数が多いからおもしろいだろうし、上級生下級生関係なくフレンドシップがはかれるような気がします。ただ、この場合、下級生が上級生を倒すという、「下剋上」がないのが、スリルに欠けると思いませんか？というわけで、文化&体育祭はこの辺で終わりにして、他の名物行事についても聞いてきました。



——七夕・クリスマスコンサート…お祭り大好きノ——

岸和田高校には文化系クラブ発表会というものはないそうです。その代り、七夕コンサート、クリスマスコンサートという二度のコンサートが行われます。七夕コンサートの方はクラブは出場せず有志のみ10バンド参加するそうです。これには参加者が多く、抽選になることも。だから七夕に出ると、クリコンの方は出ない、などの対策を行っているそうです。また間く方も、七百席もある講堂に立見が出る程。「こういう行事が好きやねんな。」と、前期の会長さんが、実にうれしそうに答えてくれました。



——悲惨・鍛練遠足——

「行事なら何でも好きノ」と、いうように話してくれていた岸和田高校の方々が、唯一渋い顔をしたのは鍛練遠足の話でした。11月に決められたコースで、約15〜17kmの距離をテクテク歩くんだそうです。「もうあれは道じゃない、草むらだノ」と、えらく不評のようでした。しかもこれを休むと、岸和田城の周りを三日で30周、(ちなみに岸和田城のまわりは1kmもない。)を走らなければならぬそうです。

——完全に大阪弁・岸和田弁まるだしで——

初めは大手前生も岸和田生も、努めて標準語で話していたんです

が、最後にはもう地方色丸出し。こちらが「くねん」「やんか」と言えば、岸和田の人達も、「くけ」「くよ」に代表される岸和田弁を連発。完全に打ちとけた雰囲気となりました。最後には特別に屋上にも上がらせてもらって、記念撮影をそこでしました。そして岸和田高校を後にしました。書きたい事はもっともといっぱいあったけど、一応これで訪問記は終わりにしたいと思います。

☆ ☆

最後に、この訪問に付きあってくださった縣先生、副会長、編集部の方々。そして、忙しい中、取材にに応じてくださった岸和田高校の皆さん、本当にありがとうございました。誌上を借りて、お礼を申し上げます。



きのうは誰と出会いましたか？



## 他校訪問から

自治会副会長 佐藤 幸

岸和田高校を訪れて、私が感じたのは、大手前は遅れてきているのではないだろうか、ということですが、例えば、文化祭も体育大会も、新しいことを試みるということがないのではないのでしょうか。いや、しようとして努力し実行しようとするのですが、トータルしてみても、あまり進歩はない。しかし、そうやってしまうのはそれなりの背景があるからなのですが。また別の理由として、大手前は外とのつながりが、無いに等しいこと。最近の大手前は、他校と交流らしい交流というのは満足にしたことがなく、外に対しては全く閉鎖的だったと言っても過言ではないと思います。岸和田高校を含め他校は、なんと言うか、自分たち以外の学校と交流することによって、すこしでも自治会を発展させようという気迫がありました。確かに、大手前高校自治会は、前に述べた状況にありながらも、本当にいろいろな努力をしてみました。とても苦しかっただろうと思います。でも、もうそろそろなんとかしないと、大手前はますます遅れてしまうのでしょうか。ではどうしたらよいのでしょうか。その一つは、もっと外にも目を向けてみることで私は思います。内を見つめてもっと充実させることも、もちろん大切です。しかし、それだけではいつまでも変化のない、今と同じ状態がずっと続くと思います。

このような状況に陥らせないためにも、私は他校との意見交換の場をもつことを切に望みます。これは私たちはもちろんです。これからの人たちに考えてもらわなければならない問題です。どうか皆さん一度考えてみてください。

## 感想 — 訪問こぼれ話 —

岸和田高校取材メンバーは、自治会副会長と、他に編集長を含む他校訪問担当者五名プラス付添いの先生一名の、計七名。これを迎えて下さった岸和田高校自治会の方々は、先生を含めて六名でした。テーブルに双方向かい合って座ったのですが、これが最初はぎこちない雰囲気。テーブルに置かれた菓子やジュースに手を出したくても出せない。ひたすら向こう側が勧めてくれるのを待っていたのは僕だけだったのだろう。まあ、この後すぐに会話はリラックスしたものになり、僕もひたすら食べることに専念したわけですが。

質問や相談等は順調に処理されました。ところがぎゅちゃん、話題が予算のことになると双方の役員の眼は輝き、会話はあらゆる方向へと暴走を始めたのでした。自治会に直接関係のない僕などは、会話に入り込むこともできません。耐えられなくなった僕と他二名は付添いの先生と一緒にその場を脱出したのでした。(勿論、あとで戻ってきましたよ)で、行った先は岸和田城。

岸和田城の規模は大阪城の外濠にすっぽり納まる程度のものですが、良く整備されていて箱庭のように美しいものでした。この岸和田城は、ホントに岸和田高校のすぐ隣で、屋上から石を投げれば届いてしまいそうな(やったらアカンよ)距離です。記念撮影で校舎の屋上にあがらせて頂いた時に、そう感じました。

さて、このコーナーはこれで終りです。岸高の皆さん、如何なるのでしょうか。クレーム・イチャモン・文句の類は、大手前高校自治会本部までどうぞ。本当に御協力有難うございました。(高)

大手前史上最大の戦い!!

ハレー彗星と共にやって来た

# 自治放談'85



今まで座談会は星の教ほどありましたが、インパクトに欠けていたのが多かったと思います。そこで、今回は、みんなに衝撃を与え、より多くの人々に読んでもらえるよう企画しました。自治会役員と一般会員・生徒との意見のぶつかりあいという形が、よりホットな“自治放談”を生んだのです。また自治会の実態を知ってもらいために、かなり過激な意見もでてきます。何しろ11ページと以前のものよりずいぶん長いですが、得られるものは多いと思います。じっくり読んで下さい。さらに21ページにある“チャート”を参照して下さい。より深い理解ができると思います。なお、本文中の( )は編集部注です。

出席者 ・自治会側

・一般側

会長	中川	一年	一八
会計監査	俣紹		C・N
2年学代	恰里	二年	R・O
	ハナ		襖
・スプリング編集委員			ねこ
編集長	遅眠		A・T
	詠達		K・H
	ほげ		T・M
	竹鹿		M・K

今始まる新たな世紀末伝説!!自治放談85!!

自治会をなくしたらどうなる? 夢と驚きのスペクタクル!! 莫大な自治会の謎を追って今《自治会冒険時代》の幕があく。話題は生徒総会から人間関係まで、いざ出陣!!

M T 「私、思うんですけど、いっぺん自治会をなくしてみたら、

その必要性が、みんなよく分かるんじゃないかな?」

ほげ 「それ、やってみるのも面白いと思うけど、それやって自治

会の必要性が分かってても、その必要性を覚えているのは、

ちょっとの間だけになってしまおうし、半年間やっても、その

次に入学してきた人は、全然分かれへんし、だから……」

竹鹿 「なくすにせんからなア……。なくそうと思ったらなく

せんねんけど。」

遅眠 「後期ぬいても、必要性なんか分からへん。」

詠達 「後期ぬいても、影響ないけど。」

ほげ 「バスケット大会とか……」

詠達 「例えば一年なくしたとするやろ、文化祭なくなるやろ、体

育大会なくなるやろ、球技大会や、なんやかんやなくなつた

としても、ほやいてるだけで、結局『何でやれへんねん』と

か何にも言いこえへんやん。それに、誰か自治会でないや

つが突然『よし、やってやろう』と、言っつて自治会の代り

をやつたら成功もんやんか。けどそういふことないやろ、ぶ

つぶつ言うだけで……」

遅眠 「可能性は薄いし……」

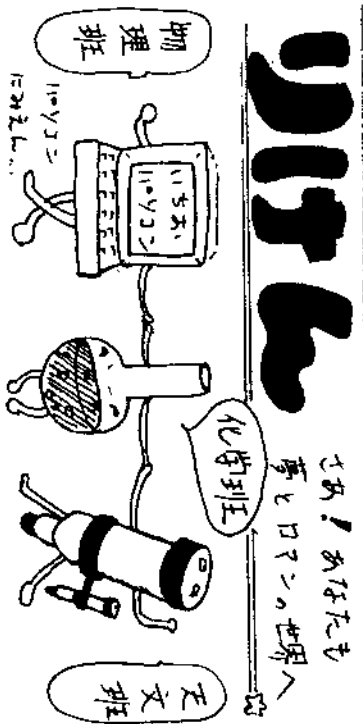
一同 「うーん。」

### 緊急指令！自治会PR作戦を徹底せよ！！

自治会。その実体を知る者は少ない。なぜ毎年千七百円も払って  
る生徒の関心が薄いのか？疑惑を抱え自治放談は激動の渦の中  
へ！！今、自治放談が熱い！！

RO 「みなさん気付いているかどうか知りませんが、まあ朝礼  
でね、自治会の様子とかいろいろ、ほんと前より多くなつた  
と思うんですよ。お気持ちでしたか？これは常任委員会が決  
定して、先生の許可取って、実行していることの一つで、あ  
と一つ、自治会改善計画の内容の一つとして、投書箱の個数  
とか……そういうのが、自治会改善計画案として出ているし、  
それにあと、掲示板に紙貼って壁新聞みたいなのとか、そう  
いう案が出ているんですよ。」

RO 「やっぱり自治会ってみんなに身近な存在じゃないと、思わ  
れているやろ。仕事の内容も分からんし、何が行われている



鬼紹

かとか、何をやっていてくれるのか分からんし。もし自治会  
が、なかったらと思う人、やっぱり少ないんちゃうかな？  
そういう分からないという人を少なくするために、やっぱり、  
“こういう仕事をしています”って、もっとみんなに知らせ  
た方がいいんじゃないかな？と思いますけど……。」

「PRする暇がないねんな。前期がすぐ文化祭で、終わったら  
すぐ体育大会、後期が、慣れたかな？と思ったら、文化系ク  
ラブ発表会、そしてその次に、予算と予備金が重なってるし  
ね……用意やっていると時間がすぐなくなってしまうから、で  
きにくいねんな。いっつもね、やろやろうと言うてね。あ  
の、自治会の去年の後期なんかは、自治会の扉の所に、今  
何をやってるっていうのを、貼ってあってんけど知って  
た？」

MT

「もっと目立つところに貼ってくれた、わからん。  
鬼紹 「そら、そーやけどね。」



誰か福沢諭吉のブロマイド100円で売って下さい！

## 自治会役員と一般生徒とは表裏一体!!

全体主義、個人主義、そんなもんはわからなくていい!!この世は愛がすべてなんだ!!愛があれば自治会役員だって、一般生徒だって、とんぼもかえるも、そうさボールだってみんな友達なんだ!!

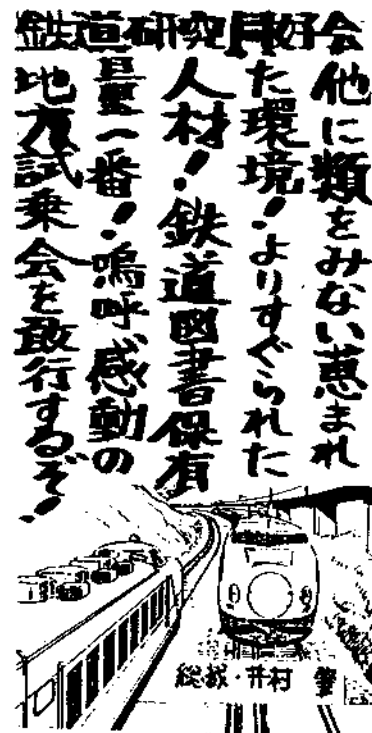
KH 「あのーさっきから聞いていたんですけど、生徒が自治会に興味がないというのは、そんな全体主義や個人主義とか、そんな大げさなものじゃないと思うんですね。だいたい自治会の人ってゆうたら、ちょっと悪いけど、中学時代から勉強ばっかりしてて頭がカタい、というイメージがすごく強くて、昔の大手前生はどうか知りませんが今の大手前生ってゆうたらそういうガリ勉タイプの人って少なくなってきたでしょう。だから自治会で活動しているそうゆうタイプの人と自分らとは全然違うと思ってるから関心がないんじゃないかな。そんな全体主義や個人主義はあんまり関係ないような気がしますね。」

竹鹿 「やっぱり傍から見ていると、自治会とかそうゆうのにおる人は、いわゆる賢いというか、なんちゆうの、そのー、中には面白い人もおるかもしれんけど……」

ぼげ 「それは賢いかカタいというよりも、特定の性格をもった人間の集まりじゃ……」

一同 (大爆笑)

ぼげ 「なんでかわかれへんけど、時代に流されてきたというか、流行を追うような人達は、そういう風な自治会などで活動している人を嫌うんとちゃうかな。」



大きく育てたい会長のヤリガイ

自治会についての議論が続く中、一人頭を抱え込んでいる会長の姿があった。それはまるで太極拳の必殺技を考えてるような真剣な表情であった。それを見たKHさんの鋭い質問が炸裂!!



KH 「さっきから会長さんが暇そうにしていらっしやるんで、一つ聞きたいんですけど、会長さんが会長になろうと思った時、どうゆう理由でなったんですか?」

会長 「まず一つに、やっぱり選挙の時に紙にも書いたように『僕がやらなっ』ていうのもあるし、やっぱり自治会の仕事が好きというか、生きがいがあるっていうか。(笑)……やっぱり自治会の仕事をやってるんだな?と……」

お母さん、私の原稿どこいったんでしょうかねー

詠達

「その、「俺がやらなあかん」ていうのは、みんながやれへんから俺がやらなあかんっていうあきらめ？それとも、例えば100人立候補しても俺じゃなかったらあかんっていう情熱か？」

会長

「……両方です。」(笑)

竹鹿

「やらなしゃあないんちゃうかなアという義務みたいなものが、自分がやってみたいという願望と入りまじると思うねんけどな。」

RO

「でも、あこがれてなかったら、やられへん。」

KH

「あきらめが半分あったら、やるのが中途半端になっちゃまうんちゃうかな。」

竹鹿

「その辺は、そのうちにどっちかに傾くんちゃうかなア。もうずーっとやってたら、「もういやじゃっ!!」てなるんちゃうかな。最近では中途半端でいく人が多いから、どっちにも傾かないということがあるかもしれへんけどな。普通は、どっちかに傾くんちゃうかな。まあ、これからも、とことんやるってタイプが多いと思うねんけど、なんか最近ではどっちかっていうと真ん中でいってるといって気がしないでもないけど。」

KH

「で、今はどうなんですか？」

会長

「うっ~~~~、そうですね、さすがにやっぱり会長やっていると自覚してきてるし、やっているとだれでもそうですが詠達君の言うように情熱感みたいなものからやるうという気持ちが強いですね。実際できるかどうかということは別として。」

OTEMAE OCHIKEN



おもしろ発想の近道！  
おもしろ教養のたぐい！  
おもしろ遊びの上達！  
おもしろ新し波を翻している！！

嫁・姑間のお父さん、この苦勞知つとるケ？

何もわかってくれない生徒、目には見えぬ動かぬ敵、自ら絶望の淵に立つ自治会役員に明日はあるのか？一体何が、なぜ彼らをばさまれている立場へと導くのか？

ほげ

「ほんでな、あの、役員になってからでもな、はっきり言っで、自治会の活動でもな、はっきり言って、こう、バツと変わらへんというか、いつも例年通りの事を言われた通りに適当にこなしているだけか……」(はよ、はっきり言え、)

ハナ

「ちよっと待ってやあ……。何かまるで全然努力してないみたいやん！」

ほげ

「いや、だから、その、あの、それは、きつと……(あせるほげ君)そこまでひどくはないけど、あんまりこうねえ変わってない気がする。」

ハナ

「変えようと思ってても変えれないところがあるんです。」

A T 「でもやっぱり、あの、生徒の人は表に見えるところしか評価しないと思います。」

ハナ 「そこにはさまれている立場はものすごくしんどい……」

K H 「しんどいと分かっててやってんねんから……」

ハナ 「それは分かってんねんけど……」

K H 「それは仕方ない。」

竹鹿 「それが結局最近きついねやあー、はさみがものすごく。最初は少しは、楽やろうと思ってるんであって、はさまれたんのは覚悟の上やねん。それがやっていくうちに、だんだんだんだんきつういくなってくる。」

\* \* \*

## 自治会、青春の苦悩する姿がたたずむ所

異なる意見が不幸な出会いをした。誤解が文句を呼ぶ傷口が広がっていく……「どーしてわかってくれない!!」役員の本音は爆発し大手前の空は真紅に染まる。

遅眠 「たとえ文化祭が成功したとしても、成功すんのが普通やと言うことで、別に誰もほめてくれへんわけやし、失敗したら絶対みんな言うし……」

詠達 「成功とか失敗の基準がちやうんとちやうどあつと驚く事してくれな絶対成功とは言わんわけよ。普通の成功やつたらむしろ失敗と思ってるくらい……そんなつまらん事とかな。」

遅眠 「まあーそーゆーことですネ。生徒と自治会の見る基準が違う。生徒の方は、毎年恒例でやってる事は無事にすんで当た

## 惺里

り前、そういう風に見てるけど、自治会の方は毎年人は変わってるんやし、自分はちっともやった経験はないと。それで成功したら、これはまあ、たたえられるべきものだ、と思ってる。そこで違いがでてくる。」

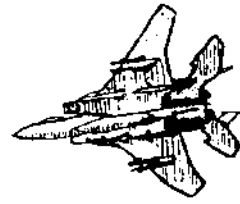
「あー私ね、つい10月自治会役員になって、まあ文系発表があつたのかな、最初の仕事として。その辺りで思ったんですけど自治会って行事が成功したって何の賞讃もないけど失敗したりとか、悪いとこばかり目について、一発でクレームがついてしまう。という、そんなんぼっかりで、何て不合理的なんだろうとすごい悩んでいたこともあるんですネ。それであの、仕事をしたという努力をどうしたら言えるかって思ったんですけど、やっぱり、その時点やったら、やるものと受け入れる者の観点がまた違うようになってくる。それで……」

「どう言ったらいいんかな。自治会は成功して当然とかいろいろあるやん。行事あつたら成功して当然と見なす考え方というか、そんなんちやうかなア。」

M T 「あーでもね、文化祭の第二部のときね、すごい自治会の人フォークダンスのとき教えとったでしょ。あの時私、すごいやるなアってすごい感動したんですけどネ。それをどこにどう表していいか分からないでしょ。だからそんな風に感じている人もぎょうさんいると思います。」



子饒会はやせんかい?



ゲーム研究同好会  
 火全土化学講義室にて  
 今を遊る19世紀ドブ軍の兵棋  
 演習として考案された、深い思考性  
 と無限の可能性をもつシミュ  
 -ジョンウォーゲーム  
 -一度あなたもやってみませんか?



## 徹底解剖・修学旅行委員&自治会役員

修学旅行委員VS自治会役員ノ一般生徒が宙に舞い、自治会役員太極拳の戦士が地平に躍る。修学旅行での成果、情熱、健闘は自治会にはないのか？青春の熱い魂に出逢える——

RO 「突然ですけど、やっぱり修学旅行っていうのは、みんな楽しくしたいって思っているから、協力してくれるのであって、日頃自治会で、何をしてきているのか分からないし、やっぱり日頃の学校生活で、楽しいに越したことはないけど、そんなに期待できへん。そんなに学校生活が、変われへんし、期間が長いし、みんなの人れ込み方が違うんところがうかな々と、思いますけど。」

竹鹿 「修学旅行も自治会活動というの根本的には同じものだと思うんですね。その中で、生徒の対応というのが、すごく違うという気がしないでもないんですけどねえ。だいたい、や

櫻

竹鹿

恰里

っていることはいっしょなんです。しかし、生徒から見たあたり方っちゃうのが、(生徒側の修学旅行委員と自治会役員に対するあたり方)ものすごく違う気が……」

「自治会やったら成功して当たり前やけど、修学旅行委員やったら、成功したら万々歳、そういう考え方が……」

「その方面の違いって何なんやる？修学旅行の成功と自治会の成功の違いっていろいろのは……」

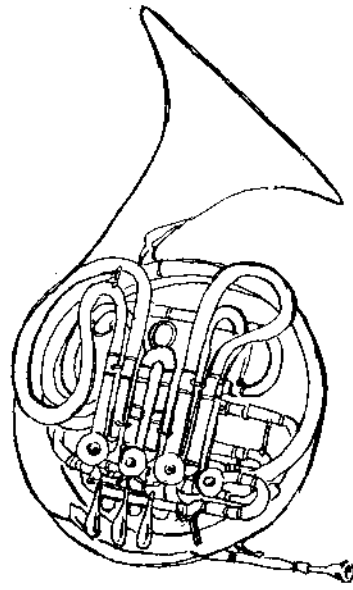
「だからそれは、身近に分かる楽しいことと、全然自分が分かってないことの違いじゃないんですか。修学旅行っていうのは、自分が行くものであって、自分が楽しいってゆうのが身近に分かる。自治会ってゆうのは、立場が逆になるけど(自治会役員として自治会批判するのはおかしいが)自治会は何してるか分からへんし、自分ら今まで行事が、自治会と関連してるか知らなかった。と、なったら当然そうゆう見方になってくると思います。実際私が自治会に関係するまでは、そうゆう見方してましたから……」

竹鹿

遅眠

「いわゆる根本的な違いって何なんでしょう？」  
 「いや、あのな、ちょっと思うねんけど、やっぱり修学旅行委員っていうたら、それだけしかない、いうわけで、あのう、初めてっていうのがもろに分かるし、みんな経験ないのにできるという事が、偉く見えるんじゃないかと。自治会だったら何となく、継続してやってるって。自治会の中に入る人がやってるんじゃないって、自治会がやっていると見方になってしまってる。中の人はどんどん変わってるんだけど、自治会そのものがやっていると気がするから、その人が変

わって、人それぞれが初めての経験を突破していくようには見えないと……で、修学旅行だったら、高校生活3年の中で、一回しか経験しないから、やはりそれが成功するとみんな嬉しいと思うのはやっぱり当たり前じゃないかな。



吹奏楽同好会

### 新案却下!?職員会議接近!!目覚めよ大手前生

今からでも遅くはない!!大手前生よノ自治会に積極的姿勢をノ君達の力なしでは明日の大手前は語れない!!非積極的な自治会なんてクレープを入れないコーヒー以下だぜ!!

**遅眠** 「生徒の方もな、あの、こう言うたら何となく、こっちが怠慢して、要求してるだけって感じになんねんけど、一応、生徒の方からも、こっちにいろいろアピールして欲しい。文化祭や体育大会にしたら、あのー、慣例によってやってるという感じになってるから、ほとんど生徒の意見は、昔からの風習で今年もそうであろうと、**推定**を**断定**にしてやっ

ているという感じだけやから……。」

**RO** 「意見をもってその伝え方が分かんのとちゃうかな。それに、伝えるとしても、それほど激しい感情をもって伝え……。」

**傀儡** 「簡単な伝え方に、生徒昇降口に投書箱があるよ。」

**RO** 「あッ。」

**竹鹿**

「だけど、その面(生徒の意見)で、ああしたいとか、こうしたいとかいうのを、もっとより具体的に出して欲しいのと自治会の方も、それをどれだけ受けとめられるかどうかに、ある程度かわると思うのですけど。自分としては、生徒の方は、例えば、球技大会でソフトボールしたいとか、そのようなのを、ここまで(のど元まで)きているけど言えないという状態がずっと続いていて、それで、自治会の方は慣習的にさあーとやってしまったようで、段々積極的でなくなったというか、まあ、1年や2年、1カ月や2カ月で、自治会への関心が、わーと、強くなることはないですけど、たとえ10年かかるか、20年かかるかもしれないですけど、また学生運動が起ったら、パワーとなるかも知れないけど、そういう中で(今の状態の中で)お互い言いたいけど、言いそこねる。やりたいけど、やりそこねるような消極的姿勢が見える。なかなか一朝一夕とはならないものですが、段々自分の心から変えていったらいいんじゃないかなあーと、僕は思うのですけど。」

**傀儡** 「それは思っている、なかなか難しいと思う。行事なんかは、今年のうちに来年の予定まで決まっています、もう慣習化

お母さんが笑った、はははは



されてきたから、変更・新設はたぶん無理……。」

竹鹿

「どっちが悪いというか、両方共、非積極的で、なんか、慣習で動いているような……。それで、やっぱり両方共、積極的になって欲しいというか、積極的なら少々の仕事でも、やり通すことできると思うけど……。」

ハナ

「あ、そんなことない。あの、目に見えない所から力が結構かかったりする……。」

魂紹

「どうなんか分かんけど、よくテレビとかマンガで見る限りでは、自治会はかなり権限をもって、幹部は、ものすごい権限をもってんねんけど、ここは、全然ないねんね。僕かって思ってんけど、(まるで自治会は)先生の出先機関みたいで先生の許可を得んことには、何もできないというか……まあ学校を使用している限りは、しょうがないのかもしれないけど……なんか、集会やるったって、全部……。」

ぼげ

「だからなるべくぼくらの手で、自治会の活動をして、ぼくらに関して自治会活動があるねんけど、それはウソで、実は先生の手に作組まれているというか、そういう感じになってしまってるねんけど……。」

ハナ

「文化祭でも体育大会でもな、貸してくれと言っても、貸してくれへんし……。」

詠達

「そういう時にね、自治会が、がんばってね、先生に対して“こういう新しい事をしたい”と言うのは、みんなを、自治会というものに注目させるためにするわけやねんな。で、がんばっても、先生とかの方が、却下しちゃえば、あきらめるやんか。そうでなくてな、却下されたらね、例えば、署名連

動をしようともしたらええねん。自治会は一方的にあかんあかんって、言うんじゃなくて、ポーンとつっ込んだら、ええんじゃないかなアー。」



魂をゆさぶる衝撃と感動の雑談会ラスト!?

自治会のミス!? ヤッチちゃんをも圧倒するほどの激論の末、我々の見たものは? 戦う若者達の結末は? 世界中の人々の見守る中ついに自治放談ファイナル!!

魂紹 「僕は常々、思うんですけど、なんか1つの失敗が10の失敗のように見える気がするねんけどな。」

KH 「疑うことはあるんちゃう?」

竹鹿 「んーそれは、割とお金になると厳しいっちゃうのは、あるんじゃないの。」

KH 「お金じゃなくてもそうです。」

竹鹿 「けど何か見とったら、1つの失敗が自治会になると10の失

いたいのいたいの屯田兵

敗をしたような感じがしないでもないですけど……。」「  
 KH 「自治会だからそーゆうんじゃないですよ。先生に對したつてそうだと、私は思います。」

詠達 「そういう、ルーズなところ（以前に起こった自治会のミスのこと）を見せられた時、あんな奴には任せられへんから、自分がやってやろうという気は起こらんのか？」

KH 「私は起こりません。」

遅眠 「それじゃ責めるだけ？」

詠達 「もしたら、"それじゃまあ仕方ないわ" っていう感じですか？ただ遠くから、"なんであんな事するんだ" とか、"ルーズだ" って言ってるだけだったら、何も変わらないんじゃないですか？そこで、あんな奴には、任せられないから私がやってやろうというのが理想やと思うけど。」

KH 「私にはできないからやらない。」

竹鹿 「それが一番大きいと思うねや。」

竹鹿 「あの、できないって、どうしてできないってゆうこと？」  
 KH 「その意識はたぶん、普通の人には一番大きいと思うねんや。例えば、こんな役はどうせできんっていう意識がものすごく強いと思うねや。それが一番妨げているような気がすんねんけどなア。ものすごく。」

遅眠 「だからあの、みんなやればできる能力を持ってんねんけど、まあ、厄介なことは、しよいこみたくないとかいう意識か、他にもホントにできない場合もあるかもしれないけれども、そういうので、できないって片付けてしまうことがあるんじゃない？」

襖 「できないじゃなくて、やりたくないという事なんですね。」  
 遅眠 「それを表面的には、できないで、ごまかしていると。」  
 襖 「そうそう。」

RO 「実際にしんどいでしょ？」

遅眠 「うん、実際しんどい。」

詠達 「しんどいって事分かってんねん、みんな。でも（自分がやったらしんどいのは）分かってんねんけど、人がやってるのは、しんどいと思ってるから、自分が思ってるように人がやってくれないと（その人は一生懸命）やってないというか……」

傀紹 「自治会で得することって、あんまりないんですね。悲しいことですけど。あるとすれば、先生が差し入れてくれるぐらいなもので、あと、何かあると思います？」

遅眠 「ナイナイ。はつきり言って、自費でコーヒー買って飲んで、なんか言われるし。」

傀紹 「クラブでも活動の後で、何かジュースかカルピスなんか飲んでるじゃないですか？あれと同じことやってるのに、自治会室で自費で買ったコーヒー飲んで、トランプやって遊んでるって、怒られるんですね。非難だけは勝手にされるんですね。嬉しいことに、で、非難でも、具体的にどうすればいいのかって、教えてくれりゃいいのに、それはないんですね。非難だけはくるんです。嬉しいことに。」

KH 「だから自治会の役員かって、選挙に立



「このA、B、Cのうち一つ選べ。」は一い、Dです。（教室にて）

候補して信任された以上は、その信任率何%の期待をしょうてるわけやから、その期待に沿われへんかったら、非難されるのは当然やと思います。

倭紹

「あの信任率あるでしょう。僕の人格知ってる人何人いますか？2年生はまあ、多いかもしれませんが、3年・1年の人なんか、めったにいないと思います。その人がね、自分がやりたくないから、どうせ、えーやろと思っつて、〇〇をつけてくれるんじゃないだろうかって気がしてね。どうしてもそれ以外思えんのですね。」

KH

「そう思うけど。」

倭紹

「でも、僕はその人の人格知れへん限りは、よう人れませんよ本当に。僕、ほとんど「X」しました、自分の知ってる人以外は。」

怜里

「ましてや、1年においては初対面の人間に信じろと、言われたって……。」

竹鹿

「それで、1年生どないなんでしょう？さっきの意見（怜里さんの）に対して。」

一八

「あのーそうですね、なんか、生徒総会があった次の日に、プリント（投票用紙）が配られて、それを見てただ、〇〇……と、しているとゆう感じの方が多い。」

AT

「はつきり言っつて、期待なんか何もしてません。」

KH

「自分が（役員を）しなくてよかったっという安心感だけ……」



一八 「立候補は1人しかおれへんから、〇〇すればいいんでしょってゆうような感じでやっつてるのが大半だと思っつます。」

ハナ

「結局、選挙は何やっつたんかな？」

誰か

「信任・不信任ノ」

ハナ

「ちやう、ちやう。あたしらが言うことや、演説聞いてくれないやろ。」

遅眠

「（自治広報を）読んだら分かるもんな。」

KH

「はつきり言っつて、自分がでなくて、よかったと思っつます。」

怜里

「ある意味で、片手落ちかもしれんな。」

遅眠

「そう。」

倭紹

「だから形式だけになるっつていうのは、ある程度しゃあないんじゃないんですか。選出する前に、その立候補の人員を集める時から、もう形だけで集めてるといっつ感じがあるから。」

怜里

「やりたいとゆう人間が何人おるかやな。」

倭紹

「やりたい人なんか、おれへんのとちやうの？」

倭紹

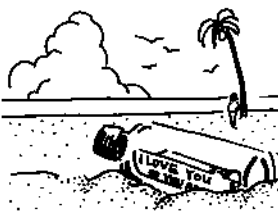
「おれへんから、そうなたんちやうかな。」

倭紹

「だから、わざわざ無理してやらんでも、いなかっつたら、もうそのまま……。」

\* \* \*

という具合に最後は、一番最初のテーマに戻っつてしまったようです。この後、まだもつと話したいという気持ちを抑えて、まとまらないまま、この自治放談話は終わっつてしまいました。それでは最後にエピソードをどうぞ……

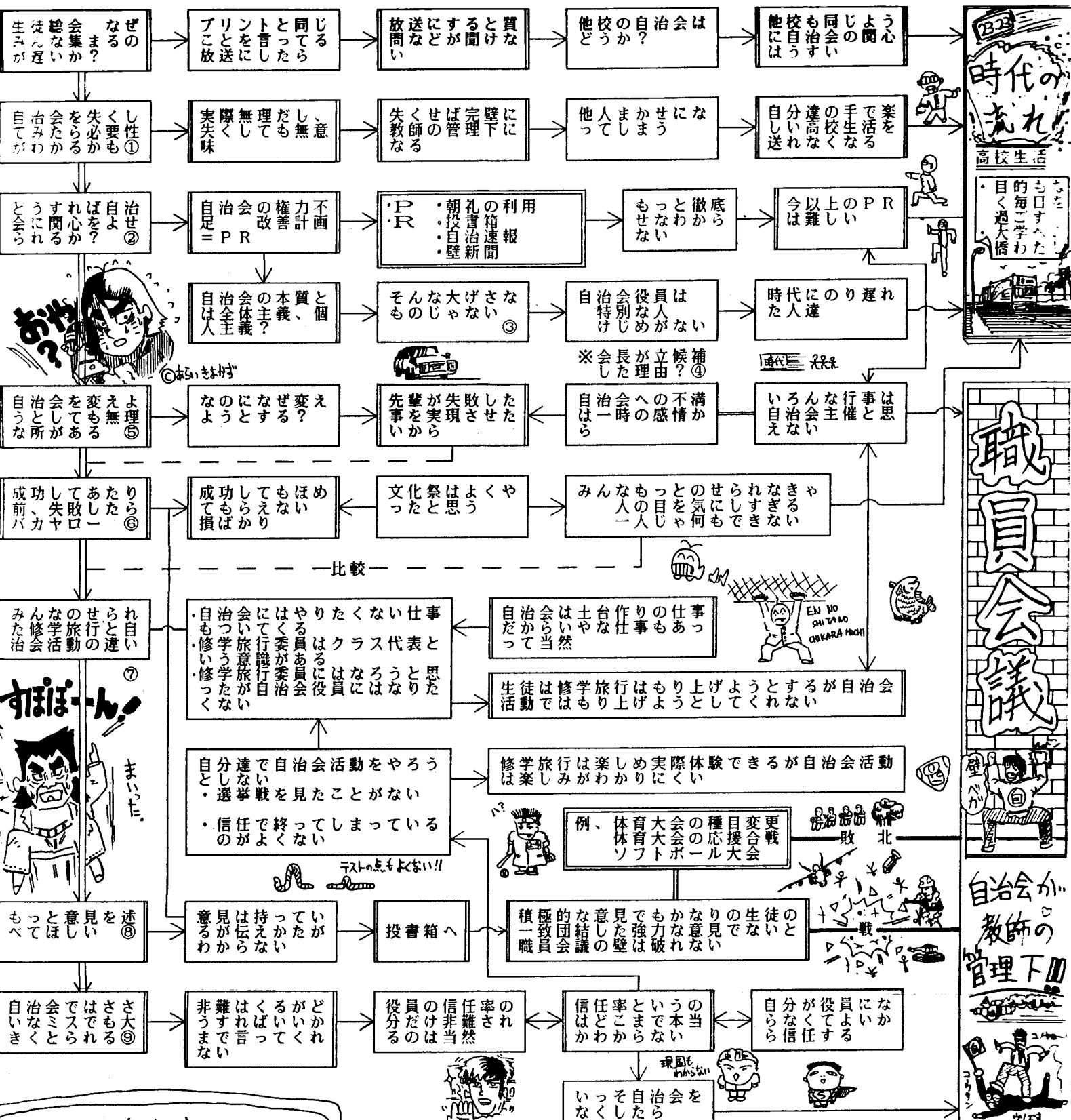


「それがギャップの差やねんノ」（予餞会実行委員会にて）

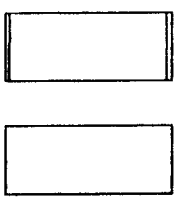
# 自治放談 '85 TIME IN BLUE

pictured by  
森野義幸





# 自治放談'85 フローチャート!!



注. 文中の「自治会」とは自治会執行部を指す



## Making of 自治放談'85

インパクト太郎

“新しい事を求めて”我々スプリング編集委員特殊工作部隊第三師団の3人は活動を始めた。編集長からの暗号指令“ネコネココネ”自治放談作戦開始の合図だ。作戦開始に至ってまず我々は過去の座談会を研究した。「なんや、これは？」一頁が叫ぶ。我々は悟った。なぜ今迄座談会の人氣がなかったか。インパクトだ。インパクトが足りない。そこで我々は考えた。今、何が必要かを。

某月某日、仏滅、自治放談作戦実行。我々の考えは、おはぎより甘かった。思うように進行しない。結論が出ないまま時間切れ。残る仕事は原稿起こし。プロデューサーの腕の見せどころだ。今までの座談会に多い役員同士の傷のなめあいという形をとらないために及び自治放談での雰囲気味わってもらうため、なるべく口語をそのまま活字とした。そのために文章の意味がとりにくくなるので最後に“チャート”というものを掲示した。そして見出しは生徒の関心をひくために少しだけ大げさにしてみた。

今までの座談会を見ると、毎年同じ事を言ってる。これは自治会内部の変わりぬ現状を意味している。しかし役員達の真剣なまなざしを見る限り我々には分らぬ血のじむような努力があった事がわかる。そういえば役員がこんな歌を歌っているのを思い出した。へ苦しうたって、悲しくたって、自治会室の中では平気なのへ彼らの努力を無駄にしないためにも、我々はおしめない協力をしようと思ひました。連日の徹夜作業に頭がダッチロールの編集者、うなる担当の先生、神経性胃炎でぶっ倒れそうな編集長、刻一刻と迫る締切。しかし我々は遂に自治放談作戦を終了。もう少しじっくり推敲したかったがいかなる武器も締切にはかなわない。文才のない我々では

あるがやるだけの事はやった……どんなものでしょう？

## 自治放談'85を終えて

会長 中川 勉

座談会ではいろいろ問題提起されましたが、全て自治会に対して信頼を持っていないということからきていると思います。信頼がないということはどこからきているのでしょうか。僕なりの考えをいいますと、一つに自治会そのものに問題があることと二つに普通会員が自分自身が自治会員であるということを知らなすぎることです。結局自治会改善計画とかかわることだと思ひます。毎年一七〇〇円も自治会費を払っていることを知っている人はこれを読んでいる人のうちに何人いるのでしょうか。この僕でさえつい一年前まではそういうことを全く知らなかったのですから。そもそも自治会というのは普通会員のためのものなのです。けれども過去の自治会意識アンケートを見ると、なくした方がよい……という意見がよく出ています。本来ならこんな意見でてくるはずがないと思ひますが、ここに信頼のなさがあらわれていると思ひます。自治会員のためのものといつても本当に自治会員のためになっているかということ、即ち自治会そのもののあり方に問題がありそうです。例えばクラスである問題が提起されたと思います。されたのはよいのですが、あまりひらかれない代表会議、それに大勢の前ではいいにくい生徒総会ではそのクラスでの意見が反映されにくい、とこういう問題があります。このことは代表会議の定例化、自治会員の自覚により意見の活発に出る生徒総会にしていくことが必要だと思ひます。

短いですが結論を急ぎますと、一つ、だれでも自治会員だから不平不満があったらその人なりの意見もそえて、自治会室か又は投書箱へ。二つ、自治会役員は行事の準備運営もさることながら

問題が出されたら最善策をとり、それに対処する。三つ、自治会役員は大勢の代表であるから何人かの期待をしょっているわけで責務を遂行し、後々まで責任をもつ。少し抽象的になりましたが、この三つぐらいでしょうか。未熟なので考えられませんが。これらが満たされれば、きっと明るい自治会活動、学校生活が得られると思います。

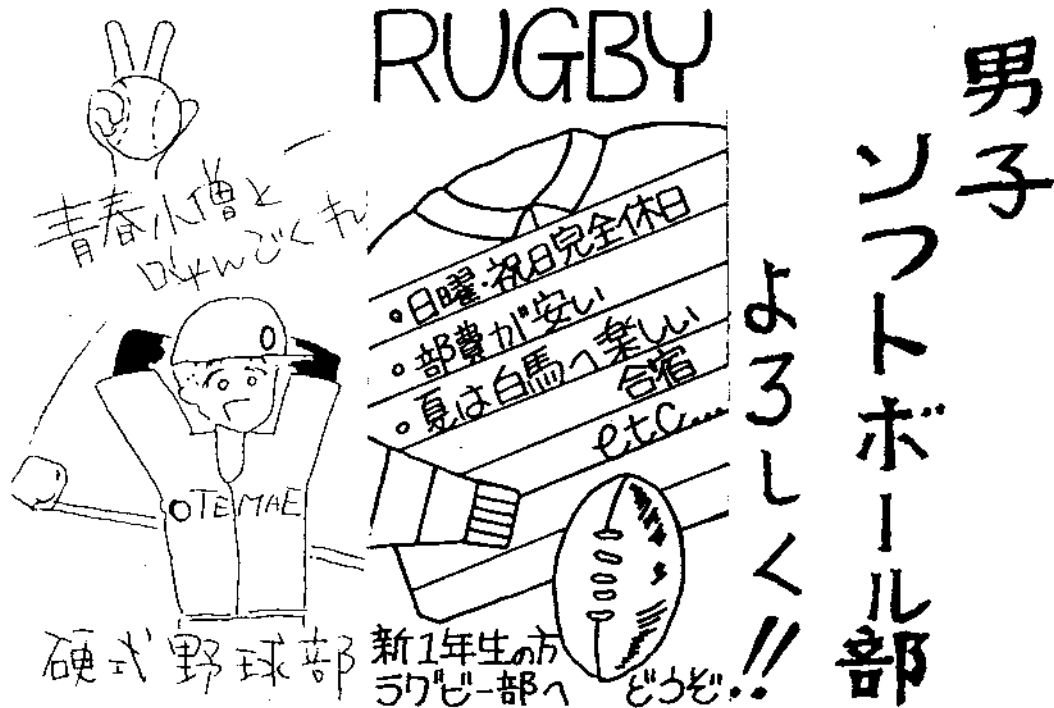
自治放談85を終えて

2年 榎

ひょんなことでこの自治放談に参加させて頂いた私であるが、自分が自治会に対してどれだけ無知であったかが浮き彫りにされた自治放談であったといえよう。内容は、ほとんど全くと言ってよいほど、自治会に関することばかりであったが、できれば恋愛や人生観などについて話し合いたかった。

あたかも「米ソの会談」という感じで、自治会と一般生徒の話し合いは平行線をたどったような気がしないでもない。しかし決して悪いことばかりではなく、「得るものは得る」という感じであった。自治会側も、「どうせだめだから……」というような考え方もないものはやめて、もっと一般生徒と自治会との間の壁みたいなものを取り除く努力をしてほしいと思う。一般生徒の方もせめて自分の達の払っている自治会費の使い道ぐらいしっかりと把握するべきではないだろうか。

とにかく、「自治会と一般生徒」というような概念は捨てなければ、一般生徒の自治会に対する無関心をなくすることはできないと思う。長い大手前高校の歴史で、今こそ皆が一致団結して、我々から自由を奪うものと戦わねばならないのではないだろうか。しかし現実には厳しい。私の唱えることは理想にしか過ぎないのであろうか。



「こりゃまた皆さん大笑い！」

# VIVA! クイズ!クイズ!QUIZ! SPECIAL

みなさま、この「VIVA/クイズ/クイズ/QUIZ/SPECIAL」へようこそ。構想3年制作3Hを費やし、制作費3万ドルをかけた「VIVA/クイズ/クイズ/QUIZ/SPECIAL」が遂に完成。前章の「自治放談」を読み疲れた人には療養剤として、また何か面白いページはないものかと探している人には精神安定剤として、それなりの効果が得られるこのクイズ/クイズ/QUIZ/SPECIALが変身する……。ウォーン。

それでは問題を解いてみよう。ここで我々は驚くべき事実遭遇したのであった。その事実とは、その事実とは、その事実とは——実は、あまりにも難しいということである。タダ者では到底解けるシロものではない。諸君の前に立ちはだかるのは鬼か？蛇か？はたまた試験の山か？

全編5ページ衝撃のアドベンチャーが今、始まる。

## ☆先生の名前を探そう！ドサーチ

このワードサーチは、大手前の先生方の名前をさがすものです。隠された名前は、荒井昭雄・今西保雄・岩井晴彦・大塚純子・岡多賀彦・小野昭平・河崎武夫・河瀬もも子・桜井洋・高塚健治・館田邦明・中川道廣・中村良一・平野日出夫・広瀬勝・宮野恭一・森一雄・森下敏明・山本耕史・渡辺光一の諸先生方のものです。また一度も使っていない文字を組み合わせるとある言葉がでてきます。

ナ	カ	ヒ	ラ	カ	ワ	ホ	リ	イ	マ	カ	ツ
モ	ガ	ワ	ノ	ヒ	セ	カ	イ	ケ	ニ	タ	ハ
リ	シ	ミ	ク	デ	モ	モ	ミ	キ	シ	ヤ	ス
ヤ	タ	ト	ヒ	オ	ク	コ	ヤ	ヨ	ウ	イ	オ
マ	モ	シ	ロ	オ	イ	ウ	ノ	キ	ヨ	ク	オ
コ	ト	ア	キ	ノ	シ	コ	バ	ヒ	ウ	イ	チ
ウ	ナ	カ	ヘ	ウ	ヨ	イ	ナ	ロ	ズ	ユ	ジ
シ	モ	ム	イ	シ	イ	ワ	タ	セ	コ	ン	カ
ヨ	リ	ラ	コ	ロ	ハ	オ	ワ	マ	サ	ル	サ
ウ	タ	カ	ヒ	ヒ	ル	キ	ア	シ	ア	オ	ケ
イ	カ	ト	イ	ヒ	コ	ニ	イ	ラ	モ	リ	カ
チ	オ	サ	ク	タ	ク	ダ	ク	ア	キ	オ	ズ

(大手前学園新聞より)「コンボ」「カイン」「ボンシ」さて、何の略語かな？



☆「ワンズ・アポン・ア・タイム・イン・オオテマエ」クイズ

【A】まずはクラブの名前からいってみよう。

次にあげたクラブ名はS 23当時のもの  
だけど、今では何ていうんだらう？

- 1 蹴球
- 2 籠球
- 3 闘球
- 4 排球
- 5 送球

【B】次はS 25頃本当にあったクラブだけど

正しいのはどれ？

- 1 ボクシング
- 2 フェンシング
- 3 すもう

【C】今では校内大会といえ、バレー・バ

スケット・ハンドボール・サッカー・  
水泳なんかがあるけど、S 36年頃あつ  
たのは次のうちどれか？

- 1 陸上
- 2 柔道
- 3 卓球

【D】昔だって体育祭というのはやってたんだ

けど、S 42に実際あった種目は次のうち  
どれだか分かる？

- 1 俵はこび
- 2 机はこび
- 3 石はこび

【E】体育祭と言え、もう一つ大きな行事に

文化祭というのがあるけど、S 39当時は  
何月に行われていたのでしょうか？

- 1 9月
- 2 10月
- 3 11月

【F】ずばり「サンマーターム」って何だ？

ヒント・門限は女子5時、男子5時半、  
サンマータームの時は共に6時

(このヒントは、S 24の「大手前学園新  
聞」に生徒心得として実際載っていた  
ものです)

【G】みんなは今、授業料をどのくらい払ってい

るか知ってる？実は、月に六千二百円も  
払ってるんだけど、S 24頃は月額いくら  
だったか？

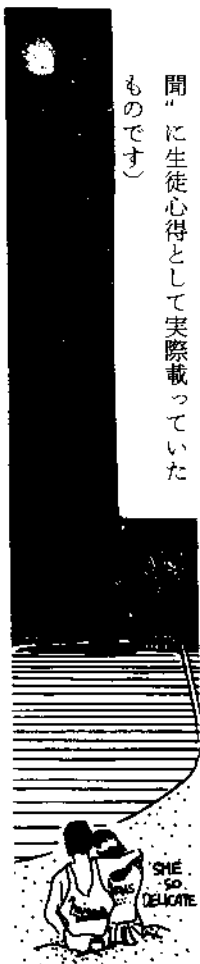
- 1 百五十円
- 2 二百五十円
- 3 三百五十円

【H】今度もお金の問題。次にあげたのは、S 40

頃の学食のメニューの一部だけど、いった  
いいくらだったか？あとにあげてあるのを  
参考にしてみよ。

- 1 きつねうどん
- 2 ハイシ(ハヤシライスのこと)
- 3 ラムネ

カレーライスは五十五円  
ソーダは二十円

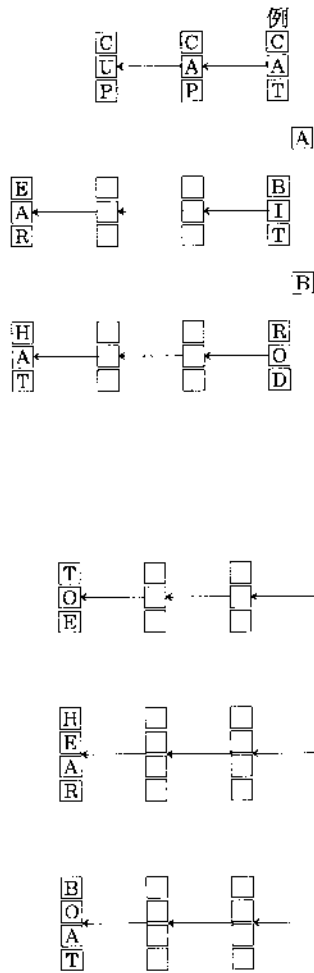


【】次の歌は昔、発行されていたスプリング別冊の歌集『うたごえ』に載っている。『課目讃歌』という歌です。( ) 内容をうめて！

- 〔化学〕( )の前では青くなる  
 ( ) ( )じゃあるまいし  
 いやなバケ学やめちまえ  
 〔世界史〕アダムとイブからこの世まで歴史は夜中に作られる  
 ( ) ( )なおいらにわかるかい  
 いやな世界史やめちまえ

☆ワ イ ド チ エイ ンジ で ア タ マ も チ エイ ン ジ ン /

これは一度に一文字だけ変えてワードチェインジするものです。例にならってやってみて下さい。ただし、途中の語も本当にある単語でなくてはけません。



**女子バスケットボール部**

世界に白球に君を宿と踊らさる。

大星の歌

Let's go!

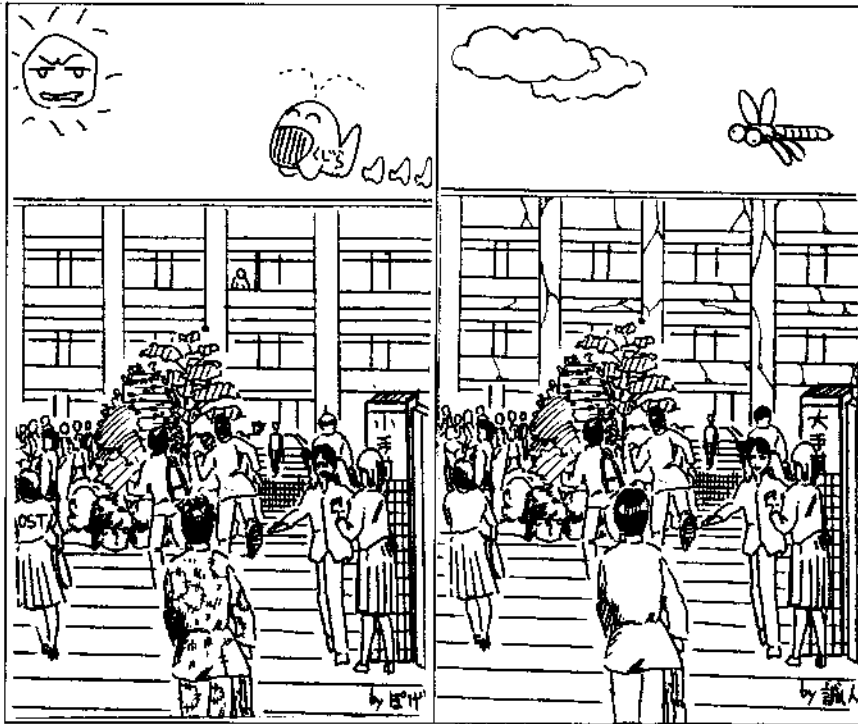
**女子バスケットボール部**

部員はみな、闘魂と精神力が玉手箱に  
 明くる笑いのあるラブです。  
 やる気があるバスケットを  
 Heartで遊べる方を募集!

S26: 某高校の規則に、女子生徒は男子生徒と共に登下校せよというのがあったのだ!

☆エッ！絵ッ！マチガイさがし

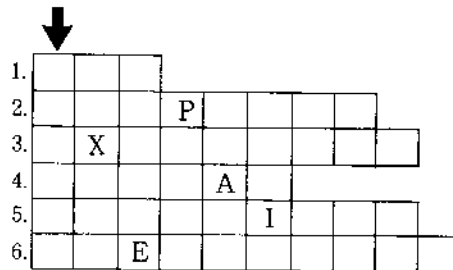
次にあるのは大手前の登校風景です。毎度ながら、どこかがちよつと違う。さてそれは？右にあるのが正しい絵。



☆がんばって解カインケイ・パズル

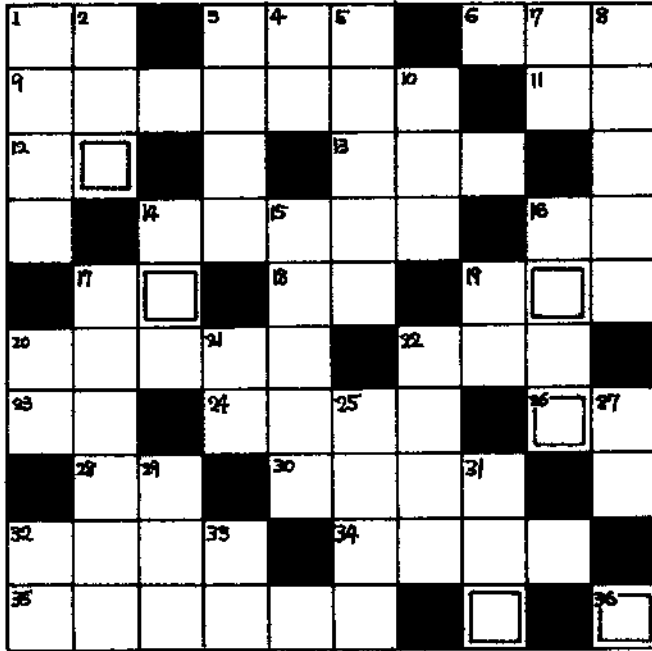
英語には、色々な形容詞がありますが、この単語にはこの形容詞という具合に関係のある語はたくさんあります。そこで次の語に関係の深い形容詞を入れて下さい。そして、その後、矢印のところをタテに読んでできる語と関係のある数字は次のうちどれでしょう。

ヒント



- 1. young
- 2. island, juice
- 3. diamond, gold
- 4. physical A. 26
- 5. Boys be B. 100
- 6. intermediate, advanced C. 1986





☆ちよつとだけ大手前に関係ある

クロスワード・パズル

二重枠の中の文字を適当に並べかえるとあるコトバがでてきます。がんばって考えてみよう。また編集部都合上、アラビア数字も少々混っております。あしからず。

——タテのカギ——

- 1. 我が校の校章はこれを模してつくられました。
- 2. 読みかけの本の間にはさむもの。
- 3. 自分でほるようなマネだけはしたくないものです。
- 4. 「悪、一張り、食い」
- 5. かつての大手前は其学では

なくこれ。

- 7. 御飯のこと。もう少し上品にいたい。
- 8. ころびません。受験生にはうらやましいことです。
- 10. 前の反対。
- 14. 書道には必要不可欠な物。
- 15. 「見る」の尊敬語
- 16. 大手前の廊下は俗に——張り
- 17. 集会室、校長室、一の七、書道教室、地歴部室
- 19. ヨコ17と対になるもの。
- 20. 嘴
- 21. 将棋をするにはこれが重要
- 22. 漢字だけの文。
- 25. テスト前の気分。
- 27. 今年はこの年。
- 29. Buddha
- 31. 山間に走っている道路。
- 32. このない船は、何とかのないコーヒーのようです。
- 33. 鍵盤
- ヨコのカギ——
- 1. ——がでる、——がつく、——を

あらう。

- 3. アルプスの少女
- 6. 明治43年当時我が校のあったところ。
- 9. 大手前にあるもの。
- 11. タテ7にはこれがつきもの。
- 12. Brother-in-law
- 13. 九九の一つ
- 14. 浮気心
- 16. 酒ではらす人も多いようです。
- 17. 一貨、砂一、一色夜叉
- 18. マダム・タッソーの——人形館
- 19. 明治維新で官軍と戦った軍。
- 20. 校長室の前にあります。
- 22. 同義語に対して——語
- 23. チドリ目の鳥
- 24. まだうれていない
- 26. 電車もとまる
- 28. すだれの原料。水辺にはえるイネ科の植物。
- 30. パリにある美術館
- 32. ウナギは、これがおいしい
- 34. あいづちの打ち方
- 35. 金蘭会館の一階
- 36. ノーヒント

昔の“耐寒訓練”(マラソン大会)は、なんと緑橋を通る8km/きついなー

―行事紹介―

## ある大手前生の備忘録

二年 Express

「『学校行事』と聞いて真っ先に思いつくものは何？」

こう尋ねられて、「テスト」と答える程の「現実主義者」(？)は、そんなにはおられぬはず。また、「自治会の選挙」と答える程現実離れした人も、ごくまれでしょう。「文化祭」や「体育大会」、それに「コーラス大会」とか。中には「大阪城マラソン大会」という人もおられるかも。――なぜ、こんなことを書くのかって？……実は我輩、編集委員からこう頼まれたのです。

「行事紹介っぽい行事体験談をお願いします。」

安請け合いたはいいのですが、締切間際になって……

――そんな難しいもの、注文するんじゃあねえノ――

思わず猛り狂いながら綴ったこの文章、一体、どれだけの人が見てくれるんだろうねえ……。とにかく、私の独断と偏見を、到る所に盛り込むつもりですので、うまくノセられて遣って下さい。

これは、ある大手前生が、一年のときにはこうだった」と言って筆者に語った記録を、内容には手を加えず、読み易いように多少表現形式を改めたものである、という。察するところ、語った人物は筆者と同学年であるらしいが、筆者は、語った人物については一言も言及していない。(編集委員注)

そうですね、四月から順番にお話ししましょうか。

入学してから四日と経たないうちに、講堂で、ほら、あの「クラブ紹介」っていうのがあったでしょう。運動系と文化系で二日にかけて。私は二日とも行きましたが、行く人数ががらりと変わるんですよ。どっちが多かったかって？決まってるじゃありませんか。運動系の方ですよ。でも、私は文化系クラブに入りましたね。クラブ紹介っていうのが、クラブから代表者が出て来ての「自己紹介」。それを聞いていると、文化系の方が自由な気がしましたし、もともと私が、運動系って柄じゃなかったから……。

四月って言っても、まだ寒かったでしょう。あのときは、凍えましたよ、「自治会立会演説会」。役員選挙の一環なんだそうだけど、客席が騒しくて、全然聞こえないんです。例年のことだとも聞いてます。いっそのこと、やめた方がいいかも知れませんよ。そう思いませんか？

毎年楽しみに思うのがあの飛び石連休。四月二十九日天皇誕生日、五月一日創立記念日、三日憲法記念日、五日こどもの日。これだけ続くと、日曜日もあることだし、……そう言えば、創立記念日って、振替休日になってくれないでしょう。何か、損した気分になりますよ。行事体験って訳じゃないけど、本当に、そう思います。

五月は……そうそう、校内バレーボール大会がありましたね。私のクラスは確か、六人制B Cの部で第三位まで行きました。学年の枠をはずして、全くのクラス対抗でやる訳だから、すごいものだったんだなって思いますね。

六月はなんといっても、コーラス大会と文化祭。初旬にコーラス大会の予選で、中旬に文化祭(コーラス大会の決勝は文化祭。日)

校長室前の池の名前知っていますか？―なんと、「ひょうたん池」だってノ

に聞かれる)。文化祭では結構ハメをはずしましたね……けど、雨に降られたんで、興味は半減。雨はほぼ毎年だそうだから、日程を秋くらいに変えりや、と思っただけど、今の日程は三年生の為なんだって。仕方ないから、諦めました。

七月は、あの苦行、水泳訓練のあった月。私はカナヅチって訳じゃないけど、終わりの方になると、目が痛くて泳げないんですよ。貴方はそうじゃありませんでした？

——水泳訓練とは、一年生だけの行事である——（編集委員注）

九月早々、校内水泳大会っていうのがあったでしょう。我が校誇り(?)の25mプールで、観客も鈴なりになって。リレーなんかに出て迷惑かけたりしたら悪いなと思って、個人競技に出たんだっただけな……どっか忘れしました。下旬になると、今度は体育大会。パン食い競争とかはなかったけど、やり様次第ではいくらでも楽しくなること請け合い。男子だけだけど、騎馬戦もあったし、でも、あれはほとんど、ただの殴り合いだと言う人もいるけど。

十月になると、二年生は修学旅行で、四泊五日の「強行軍」。先輩達は南九州の方へ行っただってねえ。私はむしろ、北の方へ生きたいですね。北海道なんか、いいと思っただけな。

五月のときに、言うの忘れてたけど、五月と十月に一回ずつ、校外教授っていうのがありましたよね。要するに、クラス単位の遠足って訳。クラス単位で、それぞれに計画を立てて、色んな所へ行くということになってるけど、実際は、どういう訳か何クラスかで



かたまってる行くみたいですね。

生徒総会っていうのがあるでしょう。あれも一応「自治会活動」とかで、立会演説会のときみたいに、放課後、生徒全員を集めての「会議」なんだそうだけど、古代ギリシャの都市国家じゃあるまいし、あんなに皆が無駄話をしてる限り、無意味ですよ。学園紛争の遺物という気がしますね。

十一月に入ると、第四上躍くらいに文化系クラブ発表会が催されるんですよ。現在では、文化系クラブの、数少ない、努力結果発表の場の一つという建前の裏に、毎年のことだから今年も、というヤル気のない惰性の結晶が、文化系クラブのいくつかに潜んでるんですね。頑張ってるクラブもありますよ、勿論。いつだったか、OBの先輩から聞いたんですけど、昔の文化系クラブ発表会って、クラブ連絡会（クラブ代表者の寄り合いのこと）が一切合財取りしきって、自治会本部は何も言わなかったんだそうですね。それが、この頃は逆転していて、という話をその先輩にしましたところ、

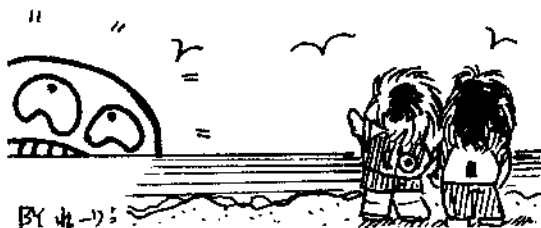


「クラブがやる気がないなら、やめればいい。」  
 いてもあっさりと言われてしまいました。私は、ヤル気のある  
 方の文化系クラブに入ってますから、発表会は続けて欲しいん  
 ですけど……。

十二月はと言えば、三日間のスケート教室。自由参加で、参加す  
 るには滑走券（スケートリンクの入場券：期末考査前に販売され  
 る）が要るんですけど、……行ってみて驚きましたよ。そのスケ  
 ートリンクは、私が大手前に合格して入学直前、遊びに行っ  
 て右手首の骨にひびを人らしてしまったところなんです。……そ  
 んなに笑わなくても……でも、そんな嫌な思い出も吹き飛ばさ  
 ぶくらい、楽しかったですね。次は誰を転ばそうかって。

——くれぐれも、危険なことにはなさらぬように——（筆者注）  
 年も明けて一月、共通一次が終わってから、三年生の為に予  
 餞会が開かれるんですけど、帰る人は帰りますね。仕方がない  
 けど。私これでも一応「予餞会実行委員」の一人だったん  
 です。当日は、割り当てられた仕事を離れて、舞台照明ばかり  
 やってましたけど。あのととき初めて、私は自治会の仕事の  
 大変さを思い知りましたね。本番に間に合わせるために、夜  
 の八時くらいまで残って仕事しなきゃいけないときもあ  
 ったし……苦しくもあり、楽しくもあり、双方入り混った  
 複雑な思い出です。

二月。毎年恒例、「大阪城マラソン大会」。  
 外濠を、女子一周、男子一周。このときは――



日中雨がひどくて、よく風邪ひかなかったもんだ、と思  
 いますよ。終わりを飾る三月は、スキー教室が待ってました  
 ね。自由参加だったんで私は行かなかったんだけど、何か、  
 楽しいエピソードがいっぱい生まれたそうなんです。行  
 って帰って来たなら、すっかり仲よくなった人がいたと  
 か。

——行けばよかったな——  
 今では、ちよっぴり、後悔してます。

如何でしたでしょうか？こうして改めて書いてみると、  
 筆者たる私自身、同じような思いをしたときもありまして、  
 初めは罵りましたが、編集委員さん、こういうものを書  
 く機会を与えて下さって、本当に有難うございま  
 した。また、読者のみなさんも、ありがとうございま  
 した。そして、これを語ってくれた、あなたにも。

この原稿が提出された今も、筆者は頭として、この一  
 年間の備忘録の題材を提供した人物について、一言も  
 触れてはくれない。この人物が誰なのか。知りたいと思  
 うのは不肖ひとりなのだろうか。或いは、プライベート  
 の侵害ということになるのだろうか。それでも、不肖は  
 知りたいたいのである。知ってどうしようというの  
 ではない。ただ、知りたいだけなのだ。

（編集委員注）

# 編集室だよ その1

○月×日 △曜日 はれ

今日、初めて一般募集の原稿がやって来た。  
やったあ！第一号や！

編集委員一人一人の顔に失われていた生気が戻ってきた。  
毎日のようにN編集長の「原稿さえへんぞー！」という悲痛な叫びを聞きつけてきた僕たち編集委員にとって、これほどの救いはあるだろうか……。

ああ、神様！ 仏様！ 原稿様！

たった二枚の原稿用紙の後ろに後光が射している？！

ふと横を見ると……えっ、あのN編集長の目に涙が……。

そんな、涙を流すほど感激してるんだ。ああ、編集長！

と、思ったのだが、実は今食べている肉まんにマスタードをつけすぎただけだった。(まぎらわしいことをするな！)

そして、「よし、みんな、これから勝負や！」と叫んだ僕にみ

んなの冷たい視線が……。

「おい、お前原稿でけたんか。お前のが一番おくれるんとかちが

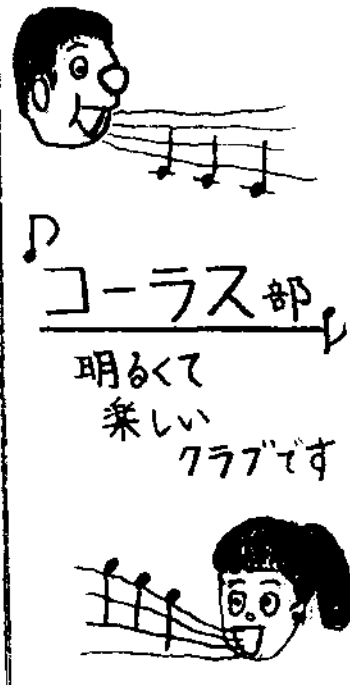
うんか！」

この声で僕はフツと我にかえった。そうだ、僕の担当の原稿は……

ん？なにー！一枚もできてない。

ウワー！(叫びとも悲鳴ともつかぬ声)

編集長様、Help me！



みんなの映画(制作)は、  
みんなの映画を見たいと  
楽しいのであつた。  
映画が大好きな人は、  
いっしょに映画について  
話そうよ！  
おしく……。

地歴部を

守ってみせるぞこのいんぐ

最後の勝負に

人命をかけたも



# 放送委員会

Do you know Otemae Broadcasting Committee?

「あなたは、放送委員会を知っていますか？」と生徒に聞いてもおそらく答えは「NO」でしょう。「YES」と答えるのは自治会関係者か、その友人くらいなものでしょう。

では、何故知られていないのか。放送委員会は放送部ではありません。無論同好会でもありません。従って定期的な活動は行っていません。活動といえば、下の活動表の通りです。といっても、自治会放送班として仕事をしているので、放送委員会が仕事しても自治会が仕事をしたことになっていきます。こういうわけで、あまり知られていないのではないのでしょうか。

今まで募集をしてはいましたが、あまり広まってはいませんでした。そのため、現在人数不足で悩んでいます。下の活動表を見て、おもしろそうだとかやってみたいなあと思った人、少しでも興味のある人、放送委員会に入ってみませんか。これはクラブではありませんが、クラブに入っている人も入っていない人もやってみませんか。仕事は男子はメカニック、女子はアナウンスで、難しくはありません。少しでも興味をもった人は、金蘭会館一階自治会室まで、四月中頃に詳しい募集内容を発表します。

## 活動表

4月	なし
5月	バレーボール大会の開会式 及び試合中のアナウンス
6月	文化祭（主に講堂での準備等）
7月	文化祭で使用した機材のチェック、及び修理
8月	夏休み
9月	水泳大会のセッティング
10月	体育大会（準備等）
11月	体育大会で使用した機材のチェック、及び修理
12月	文化系クラブ発表会（準備等、及び後始末）
1月	なし
2月	予餞会（準備等）
3月	予餞会で使用した機材のチェック、及び修理 音楽会の準備等
注	準備等には当日のミキシング、アナウンス等も含まれます。

僕は城東区という、じょうとうな所に住んでいます。

# 主 張

おとこ？ おんな？ けっこん？

一年五組 こんすけ

ある日、我が家でこんな事件が起きました。倉敷の方へ単身赴任中のお父ちゃんが長期休暇をとり、広島のおぼあちゃんの所へ行った際、大阪の我が家に電話をかけてきたのです。

「わし明日ぐらいにそっち（大阪）に帰るからな。」

お母ちゃんは答えました。

「別に帰ってこんでもええのに。」

お母ちゃんにしてみれば、せっかく長期休暇をとったのだから何も慌てて大阪に帰って来なくても実家の広島でゆっくり過せばいい、と親切のつもりで言ったらしいのですが、この一言でお父ちゃんは日茶苦茶におこりだしました。実はおぼあちゃんにも、

「お前、大阪帰ってゆっくりしたらええがな。」

と、お母ちゃんと似たような事を言われたんだそうです。

とにかくお父ちゃんの怒りはすさまじいものでした。大阪に帰ってくるなりお母ちゃんにむかって大声でどなりつけたようです。

「お母はんは大阪に帰れ言うし、お前はお母はんとおれ言うし、わしどないしたらええねん。ここはわしの家やのに何で帰ってきたらあかんねん！」……上げつないほど大きな声だったので離れた部屋

で眠りかけていた私もびっくりして飛び起きたほどでした。お父ちゃんは赴任先でのストレスがたまっていたらしく更に言いました。

「わしは嫁さんと子供養お思て苦勞してんのに！」

……この言葉には今までじっと黙って聞いていたお母ちゃんも堪忍袋の緒を切らしたようです。お母ちゃんは言いました。

「苦勞、苦勞言うけど苦勞してんのは男のあんただけやあらへん！もう嫌や、もう女やめや！」

——私も女です。女は損やとしょっちゅうぼやいている女です。でも一人でぶつぶつ言ってみても始まらないし、両親のケンカの事もあって、こうなったら自分が日頃考えている男、女の事をして結婚についての事を文章にしてみよう、と思いついたわけです。

この世には男と女、性別的にはこの二種類しか存在しません。この二種類しかない性別のうち、男というものを世間一般（特に日本）では重視している様に思われます。例えば、天皇はたとえ第一子が女子であっても女子はそれになる事はできませんし、女の総理大臣なんていうのも聞いた事がありません。もっと身近な話にもっていくと、同じ大学を卒業しても女性の就職率は男性のそれとは比べものにならないくらい低い、とか。入社しても女性の給料は低い、などときりがなく低い男性重視の例があります。何故こんなにも男性は重視されるのでしょうか。小さい時から男の子に負けるのが嫌いだった私はどうも不満です。現在ではもう男子には体力的にも敵わなくなりましたし、成績の方も低空飛行気味のため、その考えは少しうすらいできましたが、中学生のときはすごいものでした。何か事ある度に「女は損や」を連発し、「女の子のくせに」と言われるのを非常に嫌がりました。よって家の手伝いなどもあまり進んでやろ

うとはせず、「何で女の私だけがせんならんねん、兄ちゃんにもさせたらええやんか」と言うのが常でした。高校に入ってからは先程にも書いた様に、「何で女だけが」の考え方もうすらいで手伝いもまあまあする様になったものの、洗濯物を干すことだけは今でも絶対にしようとはしません。(これは「何で女だけが」の考えには全く関係ありません。小学生の時、洗濯物を干そうとしたのですが背が届かず、物干竿を倒してしまいそれが頭上に落下、よける暇もなくゴンノとあたって悲惨な経験のためです。)

……もし中学生だった時、「家事手伝いは女だけがする事と思うか。」と聞かれたとしたら私は即座に「ノー」と答えたでしょう。

「何で」と問われれば、「理由も何もない、女だけがせんならんなんて不公平や。」と答えたでしょう。しかし現在、同じ事を聞かれたとします。やはり「ノー」と答えるでしょうが理由は、「これからは男にも家事は必要やと思うから。」と答えるつもりです。男の人にも家事は必要！これは事実だと思います。大阪から遠く離れた大学に入学して下宿などをするつもりの方に特にそうだと思います。

最初に両親のケンカの事を書きましたがこれは俗に夫婦ゲンカ、と言われるものです。夫婦、と言うのは夫と妻の事を指すのであり夫と妻、というからには結婚という過程があって……というわけで次に結婚について私が考えている事を書いてみましょう。

女の子の友達数人に尋ねてみたところ、みんな早かれ遅かれ結婚はするつもりなんだそうです。でも今のところ、私は将来結婚しようとは思いません。その事を友達に言うともみんな不思議そうな顔をして理由を聞いてきます。そんな時私はいつも決まってこう言うのです。

**バスケ部 CLUB**


部員数: 男子21人 マネージャー3人  
活動日: 月曜日～土曜日  
(祝日として日曜日はなし)



"DUNK"


「全国に大手前の名前を響かすことの出来る可能性を秘めた唯一のクラブ」

君も今日から SPRINTER!!



陸上部

**軟式野球部**



部員・マネージャー 募集!!

「結婚して何の得になるねん、しんどい日して子供産んで育てて、パートに行ったり……ええ事なんか何もないやんか。」

友達は「夢のない子や。」と憐れみのまなざしで私を見るのですが実際、結婚なんてものは少女漫画に出てくる様な簡単なものではないと思います。それが証拠に盛大な結婚式を挙げておいて、すぐに離婚……というパターンがどれだけ多いことか。……えらく世の中を渡りきった様な生意気な事を書いてしまいました。けれど私達の両親の様に私達をここまで育ててくれた、ちゃんとした夫婦だっ



もちろんいます。ですから男性にしろ女性にしろ自分の行動に責任を持つ事ができる様になって初めて結婚する権利が持てるのではないかと私は考えます。自分の行動にすら責任を持ってないもの同士が結婚したって、その子供を責任を持って育てていくなんてまず不可能でしょう。さっき私は結婚しない理由として「何の得にもならない」と書きましたが、それは自分の行動に責任が持てないという自信のなさを素直に肯定するのを嫌がり、自分でも知らない間に「結婚なんてアホらしい」などという言葉をたてに逃避しているにすぎないのです。とにかく私達は結婚というものの裏には常に自分自身の行動に対しての責任、というものが伴う事を考えなければならぬと思います。

それともう一つ。近頃の結婚式をテレビなんかでよく見ますが、あれははっきり言って人生の愚挙、と言いたい気持ちです。新郎新婦がゴンドラに乗って降りてきたり、お色直しを何回もしてみたり。結婚式と言うよりもサーカスか何かのショーと言った方があってい

る様です。何故こんな馬鹿馬鹿しい式にお金をかけるのか、不思議に思います。こんな事にお金を使うなら新婚旅行の行き先を増やすとか、新婚生活の費用にまわすとか、有意義な使い方は他にいくらでもあるのに、とつくづく思う今日この頃です。

今回は両親のケンカを発端として日頃つもりもついていたうつぶんというか、ストレスというか、言いたい事を思いつき書きまくったので、すつとしました。けれど、これは私が一人で勝手に考えている事ですから、他の人から見れば「そんなもん自分が結婚してみなわからんわい」と取られるかも知れません。それはそれで別に構わないと思います。私には私の考えがある様に他の人にもその人なりの考え方がきっとあるでしょうから。

最後にお父ちゃんとお母ちゃんはその後、どうなったかと申しますと、お互いに相手を信用できなくなり離婚……なんて事にはならずちゃんとものさやにおさまり、お父ちゃんは元気に倉敷の方へと戻って行き、お母ちゃんは元気にパートに勤めております。……夫婦ってこんなもんなんでしょうか？

### ある消極的な意見

二年二組 穂 昂 須

あのさー、みんなは「人間」についてどんな風に考えてるんかなあ。時々人間ってすばらしい。なんてことを耳にするけど、ほんまにそうなんやろか。確かに、僕かてそれはほんまのことやと思う

けど、ちょっとすっきりせえへんねん。

僕はさ、人間てのは「愚者（おろかも）」

やと思うねん。なんでそう思うかというところ、人間ていうのは他の動物なんかよりも、知能が発達してるからやねん。なんか逆みたいやけど、混沌の話を考えてもらったらわかるんとかやうかな。それで、なまじ知能が発達したばっかしに、阿呆なことばっかししてきたんやな、これが。

ちょっと歴史を振り返ってみると、さて、そこには何があるか。侵略、戦争、殺戮、略奪——教えきれんほど繰り返されてるやろう？ほんまに、こんなようさんあきもせず繰り返してきたもんやで。同じ「人間」という種族だというのに、他の動物ではないんとかやう？一対一で戦うことはあっても、殺すまでには到れへんのかやうかな。ましてや群れ同士で戦うなんて、ないと思うよ。このことを考えただけでも、人間て「愚者」やと思わへん？

でも、人間同士でそんなんするのはええねん。おおいに結構。人間がいくら死のうが、それは自業自得というもんやろ。でも、その時に死ぬのは人間だけじゃない時が多い。他の動物や植物がまきぞえをくっつてしまっへん。こんなものすごい迷惑な話やんか。例えば、僕が全然見も知らん人から、いきなりいっしょに死んでくれていると、びっくりしている間に殺されてしまうようなもんやん。そういうのって、ものすごい理不尽とかやう？

ところが、人間てそういうことに気がつかないで、それどころか変に思いあがっちゃって、どんどんひどくなっているねん。それで「人間が地球上で一番偉いんだ！」なんて思ったたりしてると



よね。思いあがりもいいところやと思わへん？地球からしてみれば、一番のやっかいものやのにね。

いったい地球に、今どのくらいの数の核兵器があるんか知らへんけど、とにかく地球を破壊できるだけの核兵器があるんやて。これはばかなことだと思ってる人って、少なくないんとかやう？うんとにかく近々核戦争が起こるやろやね。そうなった時に、人間が滅びるのは、たいへんめでたいことやねんけど、他の動物や植物までが滅びるのって、ちっともめでたくない。そう思わへん？

だから僕は思うねん。人間はさ、下手に知能が発達してもうたからあかんねん。でも、それは今さらどうにもできへんことやろ。だから、せめてその知能を役立たせんとあかんやんか。で、将来科学者になる人がおるやろから、その人にぜひ頼んどきたいねん。ぜひとも人間だけを瞬時に殺せるような兵器を作ってほしい。今の原爆や水爆じゃ、他の動物や植物まで死んでしまうやろ？だから。

ここまで読んでくれはった人、ごくろうさん。たぶん暗い気分になったと思うから、紅茶でも飲んで、のんびりしてな。ほな、どうもありがと。さいなら。



## あなたの鉄研（てっけん）

一年六組 TON

ぼくは我が校の「鉄道研究同好会」の会員です。これからぼくがこの「SPRING」の紙面をお借りして書くのは、はっきり言ってこの「鉄研」の会員の募集広告です。「SPRING」を手にしたのであるう新人生の方々にぜひ「鉄研」の存在を知っていただきたいと思ひ、またぼくのクラスメートの某君の勧めもあって、こうしておぼつかない筆（エンピツ）を執っている次第です。

「鉄道研究同好会」は、昭和三十九年、つまり東海道新幹線（東京・新大阪間）の開通の年に創立され、二十一年の歴史を誇る（17）同好会です。まあ、ほんとは二十一年ぐらいを誇ってもしょうがないかもしれませんが、もっと歴史の古いクラブはいくらでもあるのでしようから。

活動の内容は、目立ったものと言えば、文化祭（本年度は六月）や文化系クラブ発表会（本年度は十一月）での展示、それに合わせての機関誌「轍（わだち）」の発行、それから年に数回の試乗会（本年度は昭和六十年十一月現在二回行われた）などです。そういう特別な活動以外の平常の活動は……どうも、特に目立ったものが見当たりません（ぼくの偏見かもしれませんが）。

また、会員数は、この原稿を書いている現在（昭和六十年十一月）、十名です。あまり多くはありませんが、少なすぎることもな



い……「鉄道研究」にはこれくらいの人数で十分といえれば十分なのだと思いますが、問題はその内分けです。二年生会員が三名、三年生が六名なのですが、一年生会員は、実は今の所ぼく一人しかいないのです。ですから、「鉄研」は現在、存続のためにはどうしても、一年生会員や（はっきり言ってぼくだけではあまりにも頼りない。ぼくは他の会員に比べて、鉄道に関する知識がなすすぎるのだから）、新人生の方々をどうしても必要としているのです。かなり強引な意見になってしまつて申し分けありませんが……。

新しい会員をつくるには、その人たちを迎えるための「場作り」が必要だと思います。それには、まず同好会の平常の活動を活発にしなければならぬと思ひますが、ぼくの正直に思うところ、「鉄研」の場合は多少その充実に欠けるところがあるのではないかと、と思われまふ。確かに、週に二回ほど（最近はまだありませんが）の一〇五教室での集会の際には、一・二年生の間でいろいろ鉄道の話が交わされています（むしろそういう話に加わっていないのはぼくの方なのだ）が、どうも、会員全員の間で一つのまとまったテーマについて討論される機会が、あまりないようです（ぼくの見ただけでは）。

そう、「鉄研」の充実のために必要なのは、ある一つの問題を取り上げてそれについて活発な討論を行うことだと、ぼくは思うのです。各会員がそれぞれの個性をそこで発揮させれば、そのテーマについての様々な捉らえ方、切り込み方が見つかり、討論が面白いものになっていくと思ひます。（ぼくは一年生会員ですから、ほんとはあまり偉そうな事は言えないはずなのですが）

ここで「轍」の最新号（第五号・昭和六十年十一月十六日発行）

の内容を御紹介しましょう。各会員が持ち寄ったコラム・エッセイが中心となっています。

「最果てに向かって」(北海道方面の紀行文)、「奥入瀬溪流——東北方面旅行より——」(大阪市営地下鉄の『旅』へほくが書いたものです。なんと規模の小さいこと……)、「旅先で見かけた人」(『特別企画——駅名クイズ』「みちのく一人旅」(東北方面の紀行文)、「ESORT SUMMER IN IZU」(伊豆・西関東方面の紀行文)というよるな会員の文章に、「鉄研」顧問代理の渡辺光一先生の、「鉄研」に対する直言・苦言を前面に出した「今、鉄研に望む事」が付いています。会員の人たちがそれぞれ体験した事、考えた事が紙面を彩っています(必ずしもほくの言っている事は「白画自賛」ではありません)。

今、鉄研に望む事には、我々「鉄研」会員にとって耳の痛いことがかなり書かれています。少し引用してみたいと思います。

「この冊子(『鐵』のこと)の内容はどうか知らぬが、同人誌を読んでみると、一人よがりの旅行記とか、金と暇があつて現状肯定しか知らぬ楽天坊やの寝言が記事となっている。展示にした所で、Sとかブルートレインの写真と既製のナインスケールモデルのレイアウトでは『ああ、やっているなあ。』でオシマイである。じっくり見てくれそうも無い。」

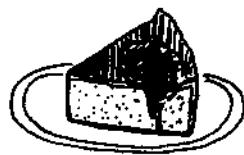
そこでほくの「大阪市営地下鉄の『旅』を思いかえしているのですが、あれは「一人よがりの旅行記」ではなかっただろうか? また「楽天坊やの寝言」にはならなかっただろうか? 「一人よがり」でない、「寝言」でない旅行記とはどんなものだろうか? 考えてみる

余地があるようです。それに、文化祭や文化系クラブ発表会での「鉄研」の展示はどれ程のものだったのだろうか? 「ああやっているなあ」で終わらなかつただろうか? 来年度(昭和六十一年度)への指針として、渡辺先生は筆を続けておられます。

「同好の士以外の人にも興味を持ってもらう為にはどうすればいいのか。それは自分達の発表レベルを高めることである。——鉄道ファン以外の人にも面白い事をやっているな……」と思ってもらえる様な企画が望まれるのである。」

そしてその例として、第二学区の貨物取り扱い駅をお挙げになつておられますが、ほくはもう一つ、鶴見区に建設予定というミニ地下鉄についての企画などは、身近で、しかもなかなか重要なものだと思います。

さて、「鉄研」を今後継続、発展させるためには、どうしても新しい会員が多く必要です。「鉄研」はもしかしたら、「子供じみた趣味だ。幼稚である……根が暗い。変わり物。マニア!! 偏執!! 気持ち悪い。大体赤字で落ち目の鉄道が好きとは、心の中に欠陥でもあるんじゃないやろか……殆ど病人」(「今、鉄研に望む事」より)などと思われているのかも知れません。しかし、それならば「鉄研」をもっと活発に、みなさんに身近なものにすればよいのです。身近な鉄道の問題を、同好会全体で多角的に捉え、発表していけるような、そんな「鉄研」にしていきたいと思えます。しかしそれには(しつこいようですがすみませんが)、どうしてもみなさんの力が必要です。ぜひ「鉄研」にお入り下さい。「鉄研」をつくるのはあなたなのだ



すノ

(昭和六十一年十一月三十日)

附記——昨日(十一月二十九日)の朝、首都圏、大阪周辺など

## 編集室だよ

その2

ここでは、編集部発足当時企画案として出た中で、「ポツ」になったものをいろいろ取り出してみようかと思えます。

①校内突然インタビュー……22号のスプリングにありました。人と話すのが下手な私としては、あまりしたくないものですし、人選上の問題もあり、ちょっとやりにくいようです。

②家での過ごし方……これは、ビッグアンケートの形で、2号から20号まであったのですが、正直なところ、大手前生の本当の実態をつかみにくいか、総計がしんどいとかで、最近ありません。

③スプリングの生いたち……20号であった企画ですが、はっきりいって、方法がいろいろありすぎ、一般生徒の興味を引くだろうか?などで、自然にポツになりました。あなたははどう思いますか?

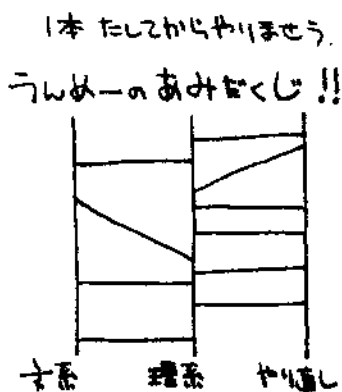
④大手前周辺の様子……イラスト・マップの一部として出たのですが、なにしろ周辺となると、描く範囲が限定しにくいとか、市販の地図同様になる恐れがあるとかで、ポツになりました。その辺をうまくこなして、今後のスプリングではほしいと思います。

⑤クラス紹介……ある人によると、ワンパターンだそうですが、いいクラスにいた私としては、是非書きたかったものです。

で突然に発生した、中核派ゲリラによる国鉄線ケーブル切断事件で大阪環状線、山手線などが大混乱してしまいました。「鉄研」としてはその事にも目を向け、原因などを話し合ってみたいと思います。

⑥クイズに、「大手前の生徒が一番多く住んでいる区はどこか?」があつて、集計に、先生や私まで動員されたのですが、なぜかポツになりました。確か答えは「城東区」だと思えます。

⑦表紙をカラーにする……割と生徒側の希望も多いですが、なにしろ予算不足で、これをするにページ数が30ページぐらいになるかも知れませんよ。まあそれでもいいのかも知れませんが、なにしろいろいろありました。結局は、日次にあるようになりました。こんな企画どうか?というのがあつたら、次号の編集委員会に申し付けて下さい。スプリングの原点にもどろう!





# くいはく…

## 大学生活を振り返って

竹中秀樹 先生

最初、このスプリングの原稿の依頼を受けた時、正直言って何について書こうか迷ったのですが、せっかくのことですから、皆さんに大いに関係すると思われる大学生活について書こうかと思えます。と言っても、決して先輩づらんかしてアドバイスなどするつもりはありません。ただ最後まで読んでもらえれば、筆者としてはこの上なく幸せな限りです。それでは本文に入りましょう。

さて皆さんは、「レッツ・ビギナー」(とにかく何かを始めよう)というフレーズを今までに聞いたことがありますか。これは、昔流行ったテレビの学園ドラマ「飛び出せ！青春」の中で、ある英語教師が生徒の前で話すフレーズです。知っている人も多いかもしれませんが、僕はこのフレーズが大好きで、事ある毎にレッツ・ビギナーの精神(これ以降略してLB精神とする)で立ち向かってきました。大学生活においても、このLB精神でいろいろ自分にとってプラスになった事があります。

例えば、通学するのに自転車を利用したこと。電車を利用すれば四十五分程で行ける所を、わざわざ倍の時間半もかけて、よくもまあ大学まで通ったものだなあと、今さらながら馬鹿馬鹿しく思われます。しかも、中の通行量が非常に多い大通りを通らねばなら

ない為に、何度か車との接触事故に会い命拾いしたこともありますし、逆にこちらの方が加害者になりかけたこともあります。そんな生傷の絶えない中で、一応四年間(とは言っても、大学という所は皆さんも知っているかもしれないませんが、必ずしも毎日行く必要のない所で、しかも一年の半分以上は休みになっていますから、ひょっとすると実質一年半にも満たないかもしれません)やってこれたことで、大きな自信となりました。

また、理科系の中でも特に実験の少ない数学科に通っていた僕は、比較的自由な時間に恵まれ、「学外活動」俗に言うアルバイトに手を染めていたのです。先ず手始めに、友達で紹介でガードマンのバイトをしました。ガードマンと言っても、強盗から大金を守るという命がけの仕事をするのではなく、単にスーパの駐車場や工事中の片側の路上で車をスムーズに流すのです。割合簡単そうに見えるかもしれませんが、いざやってみるとなかなか難儀なものです。こちらの誘導ミスで新車を他中につけそうになったり、あるいは逆に、こちらの指示を無視して車が一方通行路に突っ込んで大バニクになったり、数え挙げたらきりがありません。そんな中で一つ心暖まるエピソードがあります。これは僕の友達が経験したことなのですが、まだ夜が明ける前、その日は五月だというのに寒い寒い日でした。徹夜の路上勤務が終わろうとしていた時、ある民家の軒下で休んでいると、中からその家の人が朝刊を取りに出てきて、友達達の姿を見ると、「お勤め御苦労様です。寒いでしょうから中に入って朝食でも食べて下さい。」と言われたそうです。もちろん、彼人は人の好意を無視しては失礼に当たると思い、朝食をごちそうになったそうです。この話を聞いてなんて奇特な人がいるのかなあと

思いました。見ず知らずの人を家の中に入れて、しかも食事までごちそうするなんて。思わず心が暖まりませんか？。

他にも、引越し・ビル清掃・商品の販売（いわゆる売り子）・皿洗い・テレビのエキストラ等々いろいろ経験しましたが、その中でも特に印象に残っているのが、農家でのバイトです。農家に泊り込んで桃やぶどうの収穫を手伝うのですが、半月の間（時期は八月下旬）その家の人と寝食を共にする訳ですから、いわば家族の一員としてアットホームに迎えてくれるのです。その代わり、今まで朝刊を読んでから寝るといようなルーズな生活を送っていた自分にとっては、農家での生活は非常に厳しいものでした。何と云っても、起床がまだ夜も明けきらない五時前（皆さんはクラブの合宿の時位しかこんな時間に起きることはないのでは？）で、洗面後すぐに軽トラックに乗って、山に桃を採りに行くのです。そのバイト先の家は本家で、山にいくつも畑を持っているのでした。そして帰宅後朝食です。それからまた別の山に行き、昼食後、今度はぶどう狩りです。完全に御口様の沈む七時頃まで、ただひたすら働くのみです。帰宅後、夕食を食べ、入浴し、後は眠るだけの生活です。このような“規則正しい”生活が半月の間続くのです。もちろん、休みなどありません。台風の影響で大雨になった時も、カップを着ての仕事です。土がぬかるんで歩きにくくても、泥んこになりながらの仕事です。収穫には時期があり、その収穫期を逃すと、いくら大きくて甘い桃でも一文にもならないからです。そういう訳ですから、食事の方も最初はおながすいておいしく食べれたのですが、徐々に疲れてきてそのおいしさも感じなくなり、しまいはエネルギーを補給する為に、仕方なしに口の中へ無理やり押し込んでいた

次第です。更に運の悪い(?)ことに、その家の御主人さんは肉や魚が嫌いでした。切食べない人だった為に、食卓を飾るメニューとしては、肉なしのカレーライスや野菜の天ぷら、それから目玉焼き（これらの材料のほとんど全部がもちろん自給自足です）がローテーションを組んで登場するのです。いくら野菜好きの僕でも、半月の間そのような食事が続くと、その反動として、自分の家に帰ってからの食事がどのようなものであったかは想像するに余りあるのではないのでしょうか。

文句ばかり書いてるように思いますが、プラスになったこともあるのです。半月という短い期間ながら、泥んこになったりして自然と共に暮らしていると、今まで写真や映画で見ていた自然の美しい部分とは違った、別の部分が見えてくるような気がします。例えば、夜半、台風が接近して洪水で家のすぐ近くの堤防が決壊したことを告げる、あのサイレンの音を蒲団の中で聞いている時の気持ちなど、その場にはないとわからないでしょう。ひょっとすると家ごと流されてしまうかもしれないのですから。こういう貴重な体験もIB精神のおかげかもしれません。

それから自分の将来を決定することになったアルバイトについて。昔から大学生に人気のある家庭教師をやり出したのが、教師になっただきっかけかもしれません。このバイトを通して“教える”ということの難しさを知り、またその重要性を知ったのです。と口で言うのは簡単なことですが、果たして“教える”とは何か、これは一生つきまとうテーマでしょう。皆さんの中にも、将来家庭教師をやろうと思っている人がいるかもしれませんが、そういう人には一度は考えてもらいたいテーマだと思えます。

最後に、皆さんもこれから進学していくわけですが、まだまだ夢も希望もある青春時代のスタート地点に位置しているのです。(こういう僕もまだまだ青春は終わっていません)若い頃の失敗は、「若気の至り」ですみます。さあ、太いにJ.B精神で臨んで下さい。明日に向かって、レッツ・ビギン!

## 「おおきなかぶ」はどこに?

今 西 保 雄 先生

昔話や民話から直接教訓を導き出すとするのはあまりよい姿勢とは思えませんが、私にはどうしてもそういう視点でおはなしを読んでしまうという悪いクセがあるようです。このあいだの年末にも近所の子にブレゼント(もちろん古くなったものですが)するたためわが家の絵本類の整理をした時、古くはなっている、その話がありまわりにも教訓的なので手元に残しておきたくて「おおきなかぶ」や「花さき山」やその他若干を別扱いにしてみました。

「おおきなかぶ」のおはなしは、わざわざここで紹介する必要もないくらい有名で誰でも知っていると思えます。とにかく、おじいさんがかぶの種を植えたところ、とても大きなかぶになり抜けなくなってしまうので、おばあさんや孫娘、イヌやネコそしてネズミまでと一緒に力を合わせてやっと抜くことができた、という、ただそれだけの話です。小さな子供にとっては、あの「まだまだかぶはぬけません」というくり返し部分に面白さがあるのだと思えますが、

私にとっては、全体の構成がなかなか意味深長に思えて仕方ありません。たとえば、このおはなしが「おおきなかぶ」ではなくて「ちいさなかぶ」だったとしたら、他人と力を合わせて汗を流さなくてもおじいさんは一人で「かぶ」を手に入れることができたでしょう。それでも、その時、はたしておじいさんは本当にうれしかったでしょうか。一人ではとても抜けないくらいのおおきな「かぶ」を、みんなと協力して抜いたからこそ意味があるのだと思います。又、力を合わせるのが人間ばかり(それも同じ家族)だったとしたら、おはなしは何も面白くないでしょう。やはり、イヌやネコ、それにネズミまでも登場するから面白い、とりわけネコとネズミの組合せというのはいくできています。個々の利害の対立をも乗り越えて力を合わせてこそ手に入れることができる、何ものにもかえがたい価値があるんだということを私たちにさりげなく教えてくれているように思えるのです。おおきなかぶをみんなが抜いた時のホッとした気持ちそれこそ一人一人(?)が自分なりに全力を出し互いに力を合わせたみんなが一緒に感じている充実感といえるでしょう。その時に誰が一番力を出したかとか、誰が一番エライかとかいうことなど全く問題にもならないと思います。つまらないことで対立などせず力を合わせる事が大切だ、他人とどれだけ手をつなぐことができるか、その中こそ求めていけるものがあるんだ、とでも訴えているようです。

「とてつもなくおおきなかぶ」に値する価値を是非とも探し出し大切に育てていって下さいよ。



## 思うままに

松川 暉 先生

スプリング編集者より何か書くようにと依頼され、私の人生航路の一部を書くことにした。なにかの参考になればと思いつながら出発します。

人生五十年で思い出されることは小学校入学時からのもので、国民学校と書いていた時代だが、戦争で学校に行くことができずに家に帰るということが多かった。戦争が激しくなり、学校より集団疎開で奈良県天理に行った。小学校低学年で親もとを離れての生活はたいへんだった。朝は早く起き、布団をあげ、掃除、お祈り、避難訓練等を経験した。なんでも自分自身で出来る習慣がついた。食事は少なかったが早く食えることが多かった。日本は戦争に負け、疎開先をあとにして大阪に帰る途中、奈良公園の近くで一泊した。初めて見るアメリカ人は背が高く、鼻も高かった。大阪に帰り学校に行くと、木造校舎は焼け、鉄筋校舎だけが残っていた。教室は少なかったので、午前と午後の二部制であった。五年生ぐらいより男女共学を意識するようになり、フォークダンスで男女が手をつなぐ姿は恥ずかしさでいっぱいであった。学校外では少年野球チームに入って野球ばかりしていた。

中学校に入学、新制中学という言葉をよく使った。校舎は新しいが木造だ。運動場は田んぼだ。毎日、運動場の整備をしなければならなかった。台風で屋根がとび授業がなかったこともあった。放課後はテニス、夏休みに浜寺で泳ぐことが多かった。特に受験勉強を

した記憶はない。

高校に入学、特に書くほどのこともなく、無事通過。大学、大学院では、好きな事を勉強して時間を過ごしたように思う。十八年間の学生生活を無事に終了。

昭和二十八年四月、就職、一高校教師として大阪府岸和田市に赴任。子供の頃によく泳ぎに行っていた浜寺よりも遠いところなのだ。三月の入試当日、一日中、校長室に座ったまま先生方の働きを見学した。四月より緊張の連続である。四月八日、入学式、始業式の全生徒への挨拶、四月九日より授業の開始だ。教材研究、板書、進め方等いろいろ考えていても、授業になると思うようにいかなく、教えることの難しさを知り、生徒諸君の理解を考えて授業するようになった。

最初の二年間はクラス担任もなく進路指導室で三年生の進路指導をし、クラブは公立ではめずらしいボクシング部を指導し生徒が国体にも出場、大学入学後もボクシングを続ける生徒もいた。この学校は毎日、朝掃除があり生徒は八時までに掃除を終了しておかなければならない。私も天王寺駅を七時発の電車に乗り通勤しました。この学校で私は新聞を読む習慣が身についたのであります。それは「新聞を読んだのテスト」というのがあり、生徒に負けたくないで、一生懸命に新聞を読んだのです。大手前でも新聞を読み続けていきます。

授業中に新聞の話題を話す機会が多いが、その一つは、新米教師時代は座席名簿を見て生徒を指名していたが、名前を覚えると覚えられている生徒ばかりを指名し、指名しない生徒があり、月の数、日の数、新聞の話題になる人名をもとにして指名するなど、大手前では

古い名刺の裏に番号を書き、めくった番号の座席番号の生徒を指名しておりますが、また新しい方法を考えたい。

こつめは、新聞による話題の提供により、ある男子生徒のお母さんより、次のような内容の手紙をもらったことがあります。野球に無関心であったが、野球に興味を持ち、野球の好きな父親と話し合うようになったという喜びの手紙であった。

新聞の話題を多く知ることにより、どんな人とも会話ができ、友人もたくさん出来る。最後に、人間は常に健康に気をつけ、山に登るように一歩一歩進むことだ思う。

## 府立大手前高校、本館・別館 の建築様式について

渡辺光一先生

現在の大手前高校校舎の老朽化した姿を見て、様式などあるものか、「どうせ安普請だから」と言ってしまうていいものだろうか。永久保存する程でもないが大正11年建築開始同12年完工、府下中等学校としては最初の鉄筋コンクリート（文献12）と言われている。又、文献3によれば府下鉄筋コンクリート校舎で最も古い二校（豊中・住吉の二校で「T12」。又、同書によれば、大手前高校校舎は「S？」とするされている）と同時期であり、その二校が改築された今日では、現存する府下で最も古い鉄筋校舎の可能性がある。以

上から、本校舎を観察し、建設された時代の時代性を見出す事は意味があるのではないだろうか。

様式と言う言葉が大仰であるならスタイルや形態、外観や外見と言ひ替えてもいいぐらい、用語のルーズな使用をさせてもらう。様式と言うとゴシックやルネッサンス、近代建築なら表現主義やらライトの名が知られているが、そんなものがどう考えても大手前高校校舎にあると思えない。両隣りの国民会館（昭和8年）や大阪府庁（大正15年）に比べて一番古いと言っても見栄えのしないことは誰でも納得する。それならば、見栄えのしない事をもって、又昭和初期ならどこかにありそうな鉄筋コンクリート校舎の表現主義の要素の無い事をもって、本校舎の時代性と考えていいのではないだろうか。

そこで、私が持ち込んだ考えはセセッションであるかどうかと言うことである。セセッション風と言われる都立白鷗高校校舎（文献3・5）（昭和3年）位の表現があれば断定もできようが、当校舎は余りにも控えめである。そこで、私はセセッションに向かって無理矢理、理屈付けることになる。

### 1. セセッションの特色について

文献5の用語解説を引用する。「オーストリアのウィーンに、19世紀の末に起こった新芸術運動。既成芸術からの分離を目指し、新しい様式を作り上げた。日本には、明治の末より同様式による建築が導入され、昭和の初期までその系譜は続く。近代精神に基づいて必要なもの以外には何もかも認めぬ新しい形態を創出」と言うことである。だから、時代的には符合する。では、古典主義やら折衷主義の装飾を捨てた新しい様式はどんな特色を持つのだろうか。一

つは直線による壁面の構成である。但し、建築物の上部には半円形の屋根が設けられることがある。(文献1・2の挿図参照)。次には、その装飾も、直線的、幾何学的なものを持つている。(前回。特にペーレンスによるハーゲン近郊の火葬場 参照)と云うことである。こう言った点から本校舎を見てゆきたい。

## 2. 本館正面の構成について

誰が見ても直線の構成である。ただ、問題はこれを様式と云うていいのか、近代ビル建築ではこれは当り前なのではないかという点である。例えば日本郵船ビル(大正12年)の2〜6階部分の構成は直線からなる機能的な表現であり、規模も材質も異なるが柱列と窓の並びかただけは、本校のものに似ていないこともない(文献6写真より)。しかし古典主義建築とされている。ただ、京町ビル(大正15年)はセセッション張りだそうで(文献4)四つ橋筋側の面の2〜5階部分は本校の物に似ている。

## 3. 本館正面装飾について

装飾と云うには平板でばつとしない上、うす汚れてしまつて、印象が弱い。同じ装飾でも古典主義ならば堂々として重みもあるうし、逆に無装飾であってもコンクリート柱とガラスの素材を前面に出した建築なら新しさもあろうにどうも中途半端である。前記の装飾の特色に注目し、校舎本館正面の装飾を見て行くと全て正方形と正円の幾何学的要素から成っている。実はこの平板さこそセセッションの特色ではないか。例えば桜井小太郎の建築の、丸の内仲十五号館(大正7年)は同人の前後の建築に比べると著しく装飾が仰えられている(文献8より観察)。この建築をセセッションとするならば、この様な装飾の控えめさこそ大正期の特色ではないだろうか。(大

正時代のセセッションについては文献9も参考になる)

## 4. その他

### ○別館外装について

別館は昭和3年の建築だそうだが(文献12)外装や礎石、梁、階段手摺りに本館とは違いが見られ興味がかれる。

○柱部分の頂部にわらび状の装飾がある。これとほぼ同じ物が文献10に見られる。但しこれは内装である。外装としては文献11に見られる。

○正面出入口のテラコッタのアーチの模様については判断が下しにくい。花卉ととるか、半円ととるかわからない。言えることは、テラコッタが大正と昭和初期に使われた外装素材であり、これが使用されている事だけでも私には大発見であった。

### ○校門横コンクリート柵柱について

上面の半円はセセッションに見られる形態であり、柵柱下部側面に見られる横縞は文献10に見られる。

以上、結論らしきものを述べれば、セセッション様式であるとは言えないかもしれないが、セセッションの時代の風を浴びた建築とはいえるのではないだろうか。身びいきと素人の浅はかさから勝手な事を書きつらねたが、建築の専門家の評言も無く取り壊されるのを、惜しむ心から出たものである。御寛恕を願う次第であります。

### 参考文献

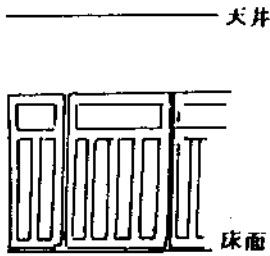
1. 新訂建築学大系6 近代建築史 彰国社
2. わかり易い建築講座3 近代建築史 彰国社
3. 新版日本近代建築総覧 技報堂出版



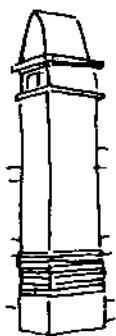
大阪市立大学医学部  
附属病院

(1925・大正14年)  
2連の窓と主柱・窓下の空気抜きは  
本校のものに似る。正面入口上部尖  
形は東京白鷺高校のものに似る。

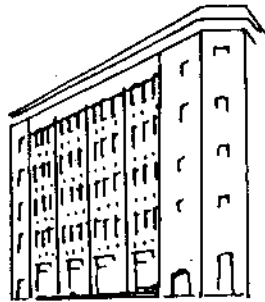
ペーレンスによるハーゲン近郊の  
火葬場(1907)  
円や矩形の連続する窓は本校校  
舎の細部に見られる。本館正面入  
口・生徒昇降口;本館西北端頂部



文献10 教室  
内壁面内装例。幾何  
的な直線による構成。  
本校では、講堂内に見られる。



文献11:門より  
柱のみ描く。  
本校正門わきの欄  
柱はこの図の頂と  
裾部を組み合わ  
せたと、とれぬこ  
ともない。



京町ビル(東面) (1926・大正15年)  
三連の窓と主柱の連続。本校では二連の窓。  
窓の下の空気抜きは本校と同じ。

- 4. 近代建築ガイドブック 「関西編」 鹿島出版会
- 5. 近代建築ガイドブック 「関東編」 鹿島出版会
- 6. 日本の様式建築 新建築社
- 7. 日本の近代建築 上下 鹿島出版会
- 8. 日本の建築明治人正昭和10 日本のモダニズム 三省堂
- 9. 近代建築史概説 彰国社
- 10. セッション図案集 上中下 洪洋社
- 11. 外部装飾 1~4 洪洋社
- 12. 大手前高校七十年史 大手前高校

# 先生紹介

## I 体研編

### 庭野孝夫 先生

—今の大手前生に望むことは

「いっぱいある。ありすぎて言えな  
いくらいけど、しいてあげれば気く  
ばり、心くばりのできる人になってほ  
しい。」

—体研の居心地は？

「先生方は親切だし、とてもよい。」

今日もまた「きみたちはねー」「ほんとだよー」といった東京弁ま  
じりの庭野先生の声が教室・廊下・体育館など学校中に響いていま  
す。先生が怒られる時の迫力は非常に驚異的であるため、そこで怯  
んで先生を敬遠してしまう生徒がいるのは残念なことです。大きな  
怒声の中には、我々のためを思う情熱とやさしさがうかがわれ、そ  
れをつかんだ生徒も多数います。

本校に來られて今年で十九年目になられます。今後も我々のため  
に厳しいご指導をお願いしたいものです。



### 宮野恭一 先生

—二年連続出場のご感想は？

「……………」

—大手前のご感想は？

「昔よりしなくなったとよくいわれ  
ているが、やはり勉強をよくすると思  
う。それからもっと運動場が広くなっ  
てほしい。」

—体研の居心地は？

「とても温かく、明るくていいところです。不満は別にない。」

—自分を動物にたとえると何に似てますか。

「クマとか、体型はウシに似てるとか言われます。」

以上、昨年あまりふれられていない項目について質問してみまし  
た。僕自身、月曜日に体育の授業をうけもっていただいておりまし  
が、他の組の人の話によりますと保健の授業は、もっとおもしろい  
そうです。一度聞いてみたかったのですが、機会がなくて残念に  
思っています。

体研に新しい風を吹き込んでいただいた宮野先生。本校に來られ  
て今年で二年目になります。今後も授業にクラブにご指導いただき  
たいと思います。





### 石川 満 先生

—最初に今の大手前生。昔と比べてどうでしょうか？

「一言でいうと、明るくなった。例えば修学旅行で特攻遺品館を見たときでも、そのことについて、真剣に考えようとしていない。はじめっから拒否の態度を示すといった感じ。ようするに暗いことから逃げようとしているように思う。」

—はあ、ではがらりと変わって、自分の顔を動物に例えると何でしようか？

「もちろん う・さ・ぎ。理由はうさぎ年生れだから。(笑)。」

(これには、まいったあ)

—それでは体研の居心地はいかがですか？

「いい」の一言。

—最後に、先生の好きな言葉をお願いします。

変えることの出来ないものは

それを受け入れるだけの心の落ち着きを持ち

変えることの出来るものについては

それを変えるだけの勇氣を持ち

そして、変え得るものと変え得ないものを

見分ける知恵を持ちたい



### 田中 敏 先生

—ではお願いします。まず体研の居心地から。

「いいんじゃないんですか。」

—はあ、で、次に今の大手前生は昔と比べてどんな感じでしょうか。

「うーん。難しいなあ。今の生徒はい意味での活気というものが、少なくとも

なったと思うな。なんだか小さく、凝り固まり過ぎてるといふか目立たないようにしているというか、昔は、もう少し、勉強以外のいろんな方面にもどんどん活躍していたように思う。」

—確かに今のみんなはそういう面ではおとなしくなってきたいますね。それでは最後に顔を動物に例えると？

「……………」

思わず緊張しましたが、先生はとても親切で熱心な方なのです。

それ故にか、授業時間延長もしばしば。

では顧問をしておられる陸上部

の一部の方に聞いてみました。

—先生について何かコメントは？

「思いやりがある」「敵しい」などでした。これからも頑張ってくださいませ。



## 泉田英理子先生

——では、まず体研の居心地はいかがでしょう？

「とっても、とってもいいですよ。」

——うーん。じゃあ先生から見ても、今と昔の大手前生の違いと言うと？

「そうね。なんだかすごく子どもっぽくなったって感じますね。いやー自分が年とったからやわ。きつと。(笑)」

——そんなことないですよ。先生は若い！っと。ところで突然ですが、御自分のお顔を動物に例えると？

「えー。何だろ。何と思う？」



——ということであの体研の中で紅一点の存在——泉田先生はとても、ハツラツとした先生です。御専門はダンスですが、そのときのプロポーションとみんなを引張っていく力には、私たち思わず敬礼！といったところ。軽やかかつダイナミックな先生のダンスに見とれてしまっって、自分の手足が動いてないっていう人もけっこういたりしませんか？(私もその中の一人ですが……)

——その他にも音楽などを趣味で楽しんだり、将来、アメリカへ行くのが夢で英語の方も頑張っておられるとか。何ごとにも積極的にチャレンジされる先生。これからはファイト！

## 高塚健治先生

——まず、昔と今の生徒の違いは？

「昔は、自分に対し厳しく、心が豊かであったように思う。授業等生徒の中にいるとこちらまで燃えてしまいう程頑張っていた。が、今は、甘えが多分に見られる。基本的な部分は、少しも変わっていないのだけれども……」

——はあ、じゃあ、授業の特色等ありますか？

「『授業とは、自分を磨くところ』と考えています。ですから生徒の皆さんにはいつでも全力を発揮させる事を念頭に置いています。」

——これは大変難しい事ですね。では次に先生の方針等を……

「モットーは『思いやり、誠意』しかし、現在はそれが殆ど欠落しているのではないかと思います。」

——そんな事ないと思いますけど……。それでは体研の居心地は？

「いいですよ！もう最高！」

——ではでは最後に一つ、自分の顔を動物に例えると？

「?????。」

——という先生のお答えでした。



## 荒井昭雄先生

——自分の顔を動物に例えると？

「馬……だな。やっぱり。」

——あの……体研の居心地等は……？

「冬寒くて夏暑いんだよ。ここは。」

——それと……ゴミゴミゴミ！」

——あはは。(こんな事言ってもいいのかなあ?)

——それじゃ、昔と今の生徒の違い、又この際言いたい事は？

「昔は若かったからなあ。生徒と競争相手になったんだが……今ではダメだなあ。今は生徒に負けている。あとは……今の生徒は切り換えが下手だねえ。ぱっと切り換えが出来ずにこう……するずるして

るって感じだな。」

——私の方を見て言わないで下さい！当たってるだけに。と、まあ、

ユーモア溢れる対応を下さったのですが、あつ、その貴方も

ちよっとお答え願いますか？

——いいですよ」

——それでは、荒井先生の性格はどんな風だと思えますか？

「んーっ、やっぱりユーモラスな性格かなあ。」

——じゃっそちらの方は？

「明るく楽しいの一言につきます。」

——皆さん、似た様なイメージをお持ちの様で、いやあ、しかし荒井先生の意外な人気には驚きました。



## 河崎武夫先生

——まず最初に一つ、河崎先生がたま

たまご不在だったため、大手前を卒業

した某先輩に尋ねました。

——先生の顔を動物に例えると？

「口熊。あの先生、体が大きくて、

わりと動作がゆっくりやし、色も白い

方やし、迫力あるからなあ。イメージ的に……。」

——言われてみれば……。あと先生の特徴等は？

「えっとな、よく授業中に『いーすかあ』と『一、二、三』て言

うねん。いやあ、懐しいなあ。アルバムに書かれてあるねん。こ

れ。

——そう言えば、誰かも似た様な事……じゃあ、先生の性格は？

「あの先生、一見怖そうに見えるけど実はちゃうねん。ほんまは

優しいねん。僕は、わりとお世話になった方やからなあ。ええ先生

やで。怒らすと怖いけど。あつ、考えてみたらこれ、スプリングや

ろ。僕の名前、伏せといてや。」

——へー。へー。分かっとりま。

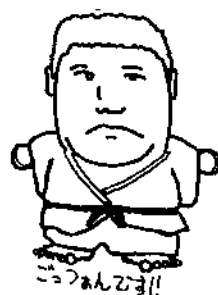
——という具合に、某先輩が明るく答えて下さいました。

——河崎先生のイメージは？

「うーん、なんかこう不思議な迫力があるわりに、おとなしそ

うな感じってとこかなあ。」

——皆さん、あまり怖いと思ってるっしやらない様で……。



## Ⅱ 芸術編

### 中川 壽郎 先生

— どうすれば書道が得意になれるでしょうか。

「好きになること。好きこそ物の上手なれ（平賀源内）。」

— 今と昔の大手前生の違いとは、どのような所でしょうか。

「今の大手前生は消極的で受身。まじめなことは今も昔もかわらない。」

— 先生の長所と短所はどこだと思いますか。

「物事に比較的にこだわらないこと。これは長所でもあり、短所でもある。」

— 先生は書道のどんな所に魅力を感じたのですか。

「もっとも端的に表現される芸術であるから。」

と、以上のようなことを答えてくださいました。先生の授業を受けている生徒の一人に先生の印象を聞いたところ、一言、「『書は心』そのもの。」と、「口』っていました。まさしく適言だとは思いませんか。



### 竹田 紀子 先生

— どうすれば音楽が得意になれるでしょうか。

「好きになることです。」

— 先生の授業の特色は？

「体力がいらいます。」

— 今と昔の大手前生の違いとは、どんなところでしょうか。

「昔は『やりたがり』が多かったようですが最近では『かくれたがり』が多いと思います。」

— 先生の長所と短所はどこだと思いますか。

「長所は明るい所、短所は気が弱い所かなあ。」

— 先生は音楽のどんな所に魅力を感じたのですか。

「音楽に魅かれるというより音楽以外の人生なんて考えられない。」と、以上のようなことを答えてくださいました。音楽を選択している人にはわかると思いますが、確かに音楽の授業には体力がいらいます。でも、その後の気持ちのよさ……。これも音楽の魅力の一つかもしれませんね。それに、先生の魅力としては何といてもあのソプラノの声、初めて聞いた人で感激しない人はいないのではないのでしょうか。



# III 理科棟編

## 上総良雄 先生

— どうすれば物理が得意になれるでしょうか。

「食わずぎらいにならないこと、授業をしっかりと聞くこと、宿題は必ずやること。物理の授業のあった日は30分間は復習することです。」

— 先生の授業の特色は？

「わかる授業をめざしています。ていねいに実験を多く取り入れています。」

— 今と昔の大手前生の違いとはどのような所でしょうか。

「授業にくらいつくようにしっかり聞き、書きとる所。昔（10年前）は目がぎらぎらしていた。実験に興味を持ち、教卓実験の時はわれ先に教卓のまわりに集まりしっかり見ていたものです。」

— 先生は物理のどんな所に魅力を感じたのですか。

「物理学の進歩が今日の世の中の発展を築いたと思う。これからますます発展する世の中に遅れないためには、物理が必要だと思う。私の若い頃も同じだった。」

と、以上のように答えてくださいました。物理というものは、とかく難しいものと思いがちですが、先生の授業はそれを感じさせないくらい熱意にあふれています。



## 桑原 啓 先生

— どうすれば化学が得意になれるでしょうか。

「物質について、好奇心や関心をもつことでしょうか。化学を好きになれば……？」

— 先生の授業の特色は？

「基礎的なことをじっくりやる。」

— 今と昔の大手前生の違いとはどのような所でしょうか。

「子供っぽくて（childish and childlike）かわゆくて、おしゃべりで、そして将来や未来を考える生徒が少ないところ。」

— 先生の長所と短所はどこだと思いますか。

「長所は黒板をきれいに拭くこと。落ちているゴミを拾うこと。短所は、黒板ふきを窓の所ではたくので下の人が迷惑すること。」

— 先生は化学のどんな所に魅力を感じたのですか。

「目に見えない原子、分子、イオンでいろいろ物質の性質などが説明できること。」

— 先生の魅力を教えてください。

「特にないけれども、やさしい、こわい顔をしない（できない）。」

と、以上のように答えてくださいました。生徒の間でも「かわいい。」と評判の先生です。



## 井上泰佑先生

— どうすれば生物が得意になれるでしょうか。

「好きこそものの……」でしょうか。」

先生の授業の特色は？

「教師一人がのってやっけてしまいがちなところ。」

先生の長所と短所はどこだと思えますか。

「長所はやけに明るい所。短所は『早口すぎて』と『書きながら喋る』所、人柄の面では気が短かくて努力が長続きしない所。」

先生は生物のどんな所に魅力を感じたのですか。

「教科としての『生物』に魅かれたのではなく、『生物』を研究していて彼ら在必死に生きていこうとしているところが気に入りました。」

自分を動物にたとえると何だと思えますか。

「普段はなついているくせに、結局は勝手なことをする、飼われているドラ猫といったところですか。カエルだという人もいます。」

先生の魅力を教えてください。

「自分の魅力は自分には分からないし、また気付かないところにあつて欲しいものです。」

と、このように答えてくださいました。とてもやさしい、人間味あふれる先生です。



## 廣田 豊先生

— どうすれば地学が得意になれるでしょうか。

「地学はおもしろいと思ひ込むことです。では、どうすれば『おもしろい』と思えるのでしょうか。そこが問題ですね。」

先生の長所と短所はどこだと思えますか。

「長所も短所も恐らく多数あるでしょう。しかし長所、短所の判断基準が不明確であり答えようがありません。」

今と昔の大手前生の違いとはどのような所でしょうか。

「昔の大手前生については知りませんが、今と昔を比較することの意味が私にはよく判りません。時には有害なこともあるかも知れません。又『大手前生』というように一括してとらえられるほど生徒の皆さんは単純ではありません。」

自分を動物にたとえると何だと思えますか。

「答えられません。私は人間だからです。」

先生の魅力を教えてください。

「答えられません。少なくとも自分で自分の魅力を述べる事ができるほど自分に自信がありませんから。」

と、このように答えてくださいました。先生のことをよく知っている方には「なるほど」とうなずいてもらえるのではないかと思います。とても熱心でやさしい先生です。



## Ⅳ 新任編

### 桜井晋司 先生

・担当教科—英語・昭和31年1月28日生まれ  
前任校—愛知県立瀬戸西高校

PR: いつまでもこだわるのが嫌いで、さっぱりしたのが好きな人間です。でも、「反面淡白で単純です。スポーツは、何でも好きです。」

キャッチフレーズ: Per ardua ad astra (苦を経て星へ)

### 沢田和哉 先生

・担当教科—英語・昭和27年8月9日生まれ  
前任校—伯太高校

PR: Always improving myself.  
Being generous to others.  
Creating happiness for students.  
キャッチフレーズ: Keep standing! (to those who don't study)

### 松川 暉 先生

・担当教科—英語・昭和12年9月17日生まれ  
前任校—東住吉高校

PR: 健康に気をつけ、たのしい授業ときびしい授業  
キャッチフレーズ: 目標に向かって前進せよ。

### 大塚純子 先生

・担当教科—数学・昭和?年3月23日生まれ  
前任校—東住吉高校

PR: 趣味は、プロ野球観戦と読書。ただし、推理小説が主体であまり難しい本、固い本は読みません。でも、最近は一娘(3才半)の世話に追われて、どちらも思うようにはいきません。

キャッチフレーズ: 生きることは、最も難しく、最も楽しい。



## 堀池鏡一先生

・担当教科—数学・昭和28年3月8日生まれ  
前任校—守口北高校

PR: (自分のPRではないのですが) 人がその「氏名」に重みを持たせるのか、名前がその人を導いて行くのか。自らの名に鏡の字がある事に運命的なものを感じる。  
「そんな事をする必要はさらさらありません。」  
「ではでは」「えーっと」などは、よく口を突いて出てくる言葉です。

キャッチフレーズ: 自らの可能性を信じなさい。

## 森下敏明先生

・担当教科—数学・昭和28年11月9日生まれ  
前任校—枚方西高校

私は14年前に、本校を卒業しましたが現在の生徒諸君と我々の時代の生徒達といろいろな点で、非常に変化しているのでとまどっています。  
もっとなんでも「キチンとすること」「勉強の方法」を考えてもらいたい!

(注) PR・キャッチフレーズに対してはこういうお答えでした。

## 前田晴人先生

・担当教科—日本史・昭和24年7月7日生まれ  
前任校—東住吉工業高校

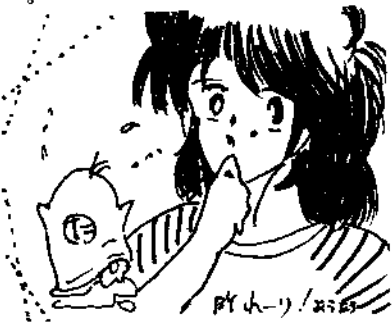
PR: 古代史の専門研究家。邪馬台国から撰関政治の時代までを範囲としています。最も新しい研究は、七世紀飛鳥の宮都について論じたものがあります。  
キャッチフレーズ: まじめにこつこつ努力をしましょう。いつかは社会的に意義ある仕事ができるようになるでしょう。

## 岡崎誠徳先生

・担当教科—地学・昭和25年1月21日生まれ  
前任校—美木多高校

PR: 教育生活6年目、高校生がもっと自然現象に興味を持ってくれたらなと思いつつ授業をしています。またスポーツをするのがたいへん好きでバレーボール部の顧問をしています。よろしくお願ひします。

キャッチフレーズ: 楽しみながら勉強しよう。







# 文芸

お日様おはようございます

二年三組 風の便り

動いた

ほら見てごらんよ

ほんとだ かわいいねエ これ 赤ちゃん？

猫達の conversation 澄んだ空に ひとつだけ お魚が卵を生みました。お魚の赤ちゃん 卵の中で ころころ転がっていく。猫さん落っこちないように見つめる中—— お魚のお母さんは今お出かけ中です。卵は 一人でどんどん大きくなっていきます。

—— あっ ここお目々だよ。ちっちゃくてくろくって…… ほらね これおっぱだ—— びくびくって動いてる 早く産まれないかな？ そしたら 三人でお散歩に行けるのねエ——  
—— でも 他に食べられちゃうよ この子小さくって弱いから 気をつけてあげなきゃね——

植木鉢とじょうろ 猫さん達持って来た。植木鉢と金魚鉢を まちがってるみたい でも一生懸命お水を入れようとする猫さん達。

—— あくん もれてっちゃうわ どうしてかしら？ お花はちゃんと この中で座れるのに…… お水出てっちゃう。——  
—— 控してないんだろ ちゃんと穴は 埋めとかなきゃだめだよ。ほら こうやって土いれとこうよ——

猫さん せっせと植木鉢に じやり 石ころ 砂 つめこんで穴ふさぐ。お水上からぶっかけちゃった。

—— これで お魚の赤ちゃんのベッドできたね——  
—— ん あれ？ 何か出てくるよ 芽が出た わっどんどん大きくなって…… 何か入れたの？ ここに あっつぼみだ だめだよ オオ 咲いちや 赤ちゃんが生まれるまでダメだよ——

つぼみ 咲きかけのつぼみ成長止めて 首かしげる そしてお空見上げて—— つぼみの先に尿がひとつおつ落ちてきた。その瞬間 ポツと赤味がさして つぼみ開いた。

—— あっ！—— きゃっ！——  
お魚の赤ちゃんが つぼみ開かせた。出てきたのは 真っ赤で ちいさいかわいい金魚の赤ちゃん。

—— やあ こんにちは金魚さん——  
—— 待ってたのよ 金魚さん——  
—— あの……僕……えっと……——

金魚さん恥ずかしがって余計赤くなる。そのいじらしさに猫さん達 思わず頭をなでてやると… 金魚さん 何故か 猫さんにかわっちゃった。

そっと 植木鉢のつぼみがほほえんだ。猫さん達の一日が始まる。陽気でポカポカ お日様 おはようございます。

### 思いつくままに

三年八組 今村 ともみ

京、嵯峨野の宝篋院。釈迦堂のそば、ひっそりしたたたずまい。

「小楠公菩提寺」の立札に心ひかれ、何気なく足を踏み入れた本堂は、透明感のあるほっそりとした青竹で、とりまかれていた。たき火の煙と、しっとりとしたつややかな青竹と、やわらかな日ざしとの、静かなシンフォニー。ただ、たたずむばかり。

もうろうとした「静寂」――。

「竹」ほど魅力的な木はない、と思う。冷え込みの厳しいとき、

「竹」はキーンと鳴るのだと、福島先生が教えてくださった。冷え冷えと張りつめた空気を、引き裂くかのように、鳴り響くのだ。

「小楠公」と居並んで、でんと構えるは「足利二代將軍 義詮公」の墓。これはどうしたことか。南朝一の勇將、楠公の跡継ぎと、やむを得ずながらも、後醍醐の帝に手向かった足利家の、二代將軍とが、あたかも無二の友のように、同じ地に葬られているとは。

「義詮公」は、この古寺を訪れ、御任職から、「小楠公」の人柄をき

## 生物



ハムスターが  
君を待っている。

おいでませ。

## お言葉



部長... 許さん... 文芸部です

油絵・水彩・工芸...



男子・女子  
どっちも  
COME ON!

き、感にたえかね、自ら、この地に葬ってくれるように、願い出たという。

心の琴線にふれるとは、このことか。ああ、吉川英治さんの「私本太平記」しまいまで読むべきだった。悲しいかな受験生の常、一巻の「天王寺の妖霊屋」で、挫折してしまっただの。

後輩に告ぐ、心おきなく読書に励め。いや、その前に、書を厳選せよ。手あたり次第読むわけにはいくまい。

卒業にあたり、何が残念とあって、「お城の見える教室」に、一度もあたらなかったことほど、心残りなことはない。大阪城あつての「大手前」城が見えねば、話にならぬ。

それはさておき、この三年間、素晴らしい先生方に、多くの面で御指導いただいた。

「大手前の伝統 ここにあり」

多大なる感銘を受けた。私は、「日本史」が滅法好きである。三人の御立派な先生方に、教えていただいた。特に、この前退職された、近松先生のお教えの数々、挙げればきりが無い。

ほろほろとなく山鳥の声きけは

父かと思ふ 母かと思ふ —— 源信 ——

幼い頃、御母様をなくされて、御父様の手一つで育てられた先生は、この歌に、格別深く、愛着を感じていらっしやう。

一年生のとき、石川先生の「漢文」の授業に、大いに興味を持った。(中  
国文学科に進もう)と、固く誓ったほ



どだった。

最近では、井上先生が「日本の誇る、日本ザルの社会構造の研究」について、話してくださったことが、印象に残っている。今度は、人間科学部に進んで、日本ザルの研究をやってみたくなった。

最後に、幕木の志上で、不世出の俊才とうたわれ、弱冠二十六才で刑死した越前藩士、橋本左内の記した「少年が 学に入る指針」五ヶ条を、後輩の皆さんに送る。

一、「稚心ヲ去レ」

一、「振気」

一、「立志」

一、「勉学」

一、「交友ヲ選ベ」

## Nonsense

三年十組 しなの 秋弥

舞台中央にスポットライトが当たります。そしてそこには、一人の少年。やがて彼は語り始めるのであります。

——少年の頃僕は「大人になったら何になりたい？」と尋ねられた時、返答に困りました。それはその時扁桃腺が腫れていた所為でもあるけれど、僕は「大人になりたい」とだけ思っていたから。

そしてまた「大きくなったら何になりたい？」と尋ねられた時、答えるのをためらいました。なぜならその時、僕は疑問を抱いてしまったから。君は僕の何が「大きくなったら」と言うんだろう。も

しも僕の身体が大きくなるという意味ならば、きっと僕はあんぎゃぐえぐえと楽しく笑う怪物をスペシウム光線でやっつけるウルトラマンになりたい。心の中ではそう思っていたのだけれど、もしも相手の問う意味と僕の答えとがずれていたなら僕の品位が疑われると思って、僕は黙秘権を適用したのであります。

少年の道の向こうに大人の扉がちらりほらりと見えかけた頃、僕は「君の将来の夢は？」と尋ねられ、「こいつ馬鹿じゃねーか」と思いました。ゆらべ見た夢さえ忘れてしまうというのに将来見る



夢なんかわかるはずねーだろと思っていたのです。しかし「夢」という不思議な響きを持つその言葉には

その1：眠っている時、実際に経験しているかのように思ったり感じたりする現象。

その2：はかないこと。無常。

その3：実現しそももない願望。また迷い。迷夢。

その4：希望。理想。（以上、角川新国語辞典）

こういう意味があると知ったその時、僕は自分の無知を恥じて棚の上からひきずりおろし、ふたをしてからまた戻しておいたのです。

とにかくその頃僕は、夢というのは眠っているときに精神だけが別世界へとばされるもんだと思っていたので、夢という言葉には精神と肉体の分裂現象の他に別の意味があると知るとは、それ迄夢を軽蔑していた反動も加えて、僕を夢という言葉の虜にするのに充

分なカルチャーショックだったのであります。夢、夢、夢：

そこでふと僕の思考は、あるひとつの袋小路においつめられたのです。僕の目の前の壁に書かれてあるその言葉：

僕は

少年は語り続けます。しかし私達にはもうその声は聴こえませんが、少年はもうはるかかなたに飛んで行きましたから。

○おまけ  
へやさしい空の飛び方

○第一に、思い込むことです。

○スピードよりも、浮かぶことを考えましょう。

○慣れないうちは方向転換がうまく出来ません。

衝突に注意しましょう。

○途中であれこれ考えるのはよしましょう。

思い込みをなくして落ちることがあります。

くれぐれもお気をつけて。

## 思 い 出

二年十組 中 島 由 美

ある夕方、私は居間で椅子にもたれて本を読んでいた。部屋

の中は心地良い暖かきで満たされ、訪れて間もない春の日の雨が、やさしく、窓をうつ音が聞こえてきます。とても静かな音でした。

ふと、私はそばに幼い息子が立っているのに気がつきました。彼は、だまって私の顔を見つめています。あまえようとしているのがよくわかりました。息子は、頭の部分がこなごなにくだけたブロンズ粘土の馬を、そっと私の方へ差し出しました。板の台の上に、青い、非常に細かくなつた粉が、手のほどこしようなないことを物語って、散らばっていました。

私は息子の瞳を見つめました。これまで、動かなくなつたおもちの自動車や三輪車など、何だかってなおしてあげた私に対する期待が、ありありと現れていました。

(父さんだったら、絶対になおせる)

という、かたい信頼の瞳でした。その、あまりに澄んだまなざしが、私の中に、遠く過ぎてしまつた日の記憶を、よみがえらせたのです。

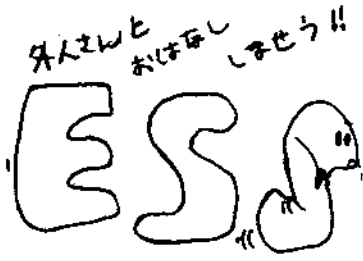
私の父は、町中で一番うでの良い医者でした。病人を治してしまふだけではありません。ピアノをひくことや馬に乗ることも、人よらずば抜けて上手でした。やさしく、そして強い心の持ち主であつたので、町の人々の悩みを聞いてあげることもしばしばでした。父は町中の人々から尊敬され、信頼されていきました。私はそんな父が大好きでした。父のそばにくっついて歩く私を、みんなは『小さな助手さん』と呼んでくれました。幼い心にも、私はどんなに誇らしく思つたことか！

誰よりも強い父と、その上私には美しくやさしい母がいました。

# 男子部

C地区三位

三部昇格



- 外人とんおほやししませう!!
- 月・木・金 ありま。
  - 毎活動
  - 1かき 文化祭
  - 2かき 文化系クラブ 発表会
  - 3かき ESS杯争奪!! スピリットコンテスト
  - その他... 大阪城にて外人汁おもしろいよ!!

## 大手前生の心の故郷

— 今時代は剣道 —

男達よ、女達よ……

剣道部

母は体の弱い人で、私を生んでからは特に病気がちになり、ベッドの上での生活を続けていました。しかし、私があまえに行くところ、つかれた顔など少しも見せず、それは楽しそうに私の相手をしてくれたものです。私は、とても幸福でした。

冬も終りに近いある日の午後、私は雪解けの始まった庭に出て、子犬と追いかけて遊んでいました。雪色の地面に水気を含んだ黒土がまだらに顔を出しています。木々はまだこぼれていましたが、中に赤むらさき色の小さなつぼみがびっしり集まってついでに低木がありました。ここ一か月程、母は熱で伏していたので、私はそばに行くことを止められていました。しかしこのかわいい発見を母に見てもらいたくて、私はつぼみのたくさんついでに一枝を折ると大急ぎで母の部屋へかけて行きました。

息をはずませて戸を開けると、のぼせるほど熱っぽい空気が、走ってきた私を迎え入れました。そのだるい空気の中で、私は、日の部分を白い包帯で覆って寝ている母の姿を見たのです。私は思わずぬことに枝を落してしまいました。物音で母は身を起しました。

「誰、誰がそこにいるの。」

「母さん、一体、どうしちゃったの。その日……。母さん！」

——母は、失明していたのです——。

「ねえ父さん、母さんの目を治してあげてよ、治してあげてよ！」  
私は必死でした。父は今までのような病気があって治してきたのだから、今度だつてと私は信じていたのです。しかし、父は首を少しふって、低い静かな声で言いました。

「許しておくれ。父さんだつてどうすることもできないんだよ。」  
「うそだ。父さんは何だつてできたじゃないか、うそでしよう。」

父は何も答えてはくれませんでした。私は泣きながら父のそばを離れました。ひどく、みじめな思いがしました。それから二週間ほど、私は父とは口をききませんでした。

早春の夕方、私は母のひざにとりすがって泣いていました。母は私の髪をやさしくかきながら、言いました。

「目は見えなくても、あなたの顔を忘れたりなんかしないから。」

「どうして、どうして父さんに治せなかったの、母さん。」

「父さんは、あなたより長く生きてきて、あなたよりずっと多くのことを知っているわ。背だつてあなたより大きいけれど、それでも運命よりは小さいのよ。」

私はたまらない思いがして、しゃくり上げながら言いました。

「でも、母さんがかわいそうじゃないか。」

「あなたが私の目の代りをしておくれ。あなたが見たものを私に聞かせてちょうだい。私のかわいい新しい瞳さん、ねえ、母さんは、少しもかわいそうじゃないの。」

私は、本当に心の底から母の力になりたいと思いました。ふと見ると、誰が生けてくれたのか、私がこの間折った枝のつぼみが、外側は赤むらさき、内側は白色の花になって十五個程集まって咲いていました。私が花を母の手の中に入れてあげると、彼女はそっと顔を花にうずめて、夢見るような声で言いました。

「まあ、この香り……。これは沈丁花だわ。」

「じゃちょうげ？」

「そう。名前をつぶやくだけで香りがしてくるわ。花の姿が浮ぶだけじゃない、これをかぐと雪解けの終わった土の匂いや、暖かな日の光、柔らかな春の風を思い出すわ。」

“人間って、ばかみたい。”そんな哀しいことを言うんですか？

私はそれから、父の所へ行きました。私は何も言えませんでした。父はだまって私を抱きしめてくれました。私の目に、また熱い涙があふれてきました。

「父さん、ほくね、ほく……。」

「ああ、わかってる。大好きだよ。」

——なんと、広い、あたたかな胸だったことか——。

それは、本当に、遠い昔におこったことでした。

「ごめんよ。お父さんにはなおすことができないんだ。」

息子は、じっと私の顔を見つめました。くちびるをキュッとかんで、肩がふるえています。彼は、こわれた像に目をやり、再び私を見ました。私の姿を映した大きな瞳に水面が乱れるように涙があふれてきました。私の姿はほおとくずれ、息子は泣いていました。

私は悲しみにくれる小さな体を抱き上げました。昔、私の父がしてくれたように。息子はうでを私の首にまわして、しっかりと寄りそってくれました。彼は私の気持ちを受け取ってくれたんだと、思っています。

「あら、この子ったら、こんな所で寝てたの。」

妻の声で、私は我にかえりました。息子は長椅子の上で、泣き疲れて寝ていました。妻は、窓を開けました。いつの間にか雨はやみ夜になっていました。

「沈丁花の、なんていい匂いだこと。」

暗い、雨上がりのひんやりと溼んだ空気の中で、花が甘くかおっています。私は独り言のようにつぶやきました。

「花の香りと、思い出は、よく似ているな。」

「どうして、そう思うの。」

「暗くて花が見えなくても、散ってしまっても、香りは残っているように。思い出もそれに似ている。」

私はしんみりした気分になって、顔を空に向けました。そうしないと涙が出てきそうだったからです。

妻は、夜の空気を、すっと一息吸うと、私に言いました。

「そうね。特にこの花は、雨の後に、すばらしくかおってくるものね。」

## 短歌

三年三組 宮田俊治

舌を焼く 珈琲越しに

母と子は 喧嘩しつつも 戯れるなり

白き空より こぼれ落ちたる 白雪は

過ぎざる去年の 思いなるめり

酒瓶に 生けたるゆえか

菊の花の 酔いしれたれば 薄紅に咲く

風の音も 静かに咲ける 梅の花の

雄々しく伸びる 若枝の角



見知らぬ人々がめまぐるしく流れる中で自分を見失うのが好き……



## 〈H〉

二年九組 チャーリー

— ○ — ○ — ○ — ○ — ○ — ○ — ○ — ○ — ○ — ○ —

恒星間宇宙暦P13 50028 相対時座標A-N-φ 201……

第三次惑星間戦争も今や終局をむかえようとしていた。パーン星系惑星スタームとキヌヌ系カーム星との間において、恒星の一生にも匹敵するくらいの長期間にわたり戦われたこの戦争も双方ともに息切れが日立つようになっていたのである。

—— スウン前線基地へ。A級指令。ファイル〈H〉を直ちに実行せよ。これはA級指令である。以上。——

「以上が捕捉したスタームの暗号文の全文です。」

「うむ。これだけではな。ファイル〈H〉とは何なのだろう。しかもA級指令。2度も念を押している。」

「もしかすると……。」

「……最終兵器、か。しかし核兵器ならば必ず防衛ラインに引っ掛かるのはスタームも知っているはずなのだが……。」

「ファイル〈H〉は確実に我がスタームを勝利に導びくのであるうな。」

「ええ。ルシール総督。我がスタームの誇る開発チームの技術の粋を集めたものですから。最先端の科学のみが成し得る業ですよ。」「これが失敗すればもう後はないのだから。これまでの長い戦

闘によってもう資源も底をつきかけておる。もし勝利を得たとしても以前のように再興するにはかなりの時間がかかるのだ。くれぐれも失敗は赦されない。」

「その点は大丈夫です。一度だけですが、実験をしました。効果があるられるのに多少時間はかかりますが、確実に目標惑星上の物体を壊滅状態にいたらしめます。」

「どのようなものだ？やはり核の類か？」

「いえ。そのような物とは根本的に異なります。実は〈H〉と呼ばれる生物を送り込むのです。それらは驚異的な進化のスピードですぐに惑星全体に繁殖し、我々のそれにはとても及びませんが高度な科学を発達させるでしょう。しかし思考形態が唯物型であるためある程度まで発展すると大規模な核戦争を起し、惑星全体をみちづれにして自滅してしまふのです。」

「なるほどそれなら大丈夫なようだな。しかし、そんな危険な実験をどこでやったのだ。」

「ソル系の第三惑星ですよ。ちょうど環境条件がカーム星によく似ているのです。予想どおりの結果が得られましたよ。」

スタームのもくろみどおり、それからまもなくカーム星で大規模な核爆発が起こり惑星上の生物は死滅した。

しかし全てが計画どおりに運んだ訳ではなかった。〈H〉——彼らは自分たちを“人間”と呼んでいる——はスタームの想像以上の生命力によって実験後も生き延び、彼らが自分たちの生存できる惑星を求め、ソル系第三惑星“地球”をあとに一路スタームへと向かっていたのである。

……そして誰もいなくなった。

## 道——The Long distance

3年7組 うつせみおとめ 空 輝 乙 女

もうずいぶん長い間  
狭い道を歩いてきたような気がする

それが自分の為なのか  
もしくは他人ひとの為なのか  
それすらもわからないほど  
歩き続けてきた

誰かに  
肩を押されているような気もするし  
かといって  
それが見えるわけでもない

ただ、いま現在  
歩いている事だけが事実なのであって  
そこからあき未来も  
もしくはあつ過去も  
単なるいひか言訳にしか過ぎない

これからも歩き続けるだろう  
この永い永い道を

僕にはまだ  
道の三叉路さえ  
見えてこない



# 編集後記

中野“大編集長”篤志！

夢を見た。遊び呆けている自分の傍で僕は原稿を書いていた。

宇都宮裕貴

お前何やってんだ。立て。まーだわからんのか！セコ見てるか。

早田“欲物”丘

良き経験は宝なり。縣・館田両先生ありがとうございました。

岡村充子

足降る夜に、原稿用紙とにらめっこ……。風流だなあ……

戸花千恵子

つかれました。

中川“後期会長”勉<sup>⑤</sup><sup>⑥</sup>

果てしなきスプリング編集ここに終わりを告げる。げげぼっ。



西山“早く”誠治

遅筆の僕もがんばってタコウエスプリングが出来ました。ほげ<sup>⑤</sup>!!

山田“フォーク重役”壽紀

スプリング中毒にかかり、今、禁断症状に悩んでいます。あーしんど。

井村邦宏

SPRINGの完成と最後まで読んで下さった方だけに乾杯！

樫原紀子

あーん、高塚先生の似顔絵が…… BUT！完成出来て嬉しい。

高橋宏和

はいおしまい。ごくる一様でした。気楽なもんです。

田中美紀子

“All's Well That Ends Well” みなさん、ありがとうございました。

## Special Thanks to

久保美由紀・小路 敦・田中茂代・津田明夫・河口かおり・岡 亮治・本殿忠香・多田顕子・西田智子・西岡千里・延山美穂・山本礼子 for “自治放談'85” 佐藤 幸 for “他校訪問” 祝 克人 for “行事紹介” 廣田 豊先生 for “フローチャート” 長谷川清一先生 石川 承紀先生 伊藤精幸先生

縣喜樹先生

つもった雪がおもたければそれだけ美しい花が咲き誇るものだ。

館田邦明先生

ものを作る喜び。行間に編集委員達の息づかいを聞いて下さい。



たくさんのお応募ありがとうございました。紙面の都合上応募作のすべてを掲載できなかったことをお詫びします。